6年の学習
GAKUSHU 8月教材

社団法人 日本PTA全国協議会推薦
学習指導要領に対応
第2学習教材●社会科



# 人物まんが 日本の歴史 中

教科書の「歴史」の勉強がよくわかる

室町時代から江戸時代末まで







もくじ



＊この本に出てくる人物は、生まれた年を１才として計算してあります。

表紙の上の「天下布武」の印は、織田信長が美濃（岐阜県）を攻めて成功し、天下統一の望みをはっきりとうちだした時に使い始めたもの。下の「馬印」は、豊臣秀吉が使ったもので、大将の馬のそばに立てて所在を示したもの。

# 第一部

# 戦国の世と天下の統一



◀山の上に築かれた城。（備中松山城・岡山県）



◀秀吉の使用したかぶと。

（大阪城天守閣）

室町時代後半、各地では、はげしい戦いがくり返されていた。しかし、それも三人の武将が登場して……。



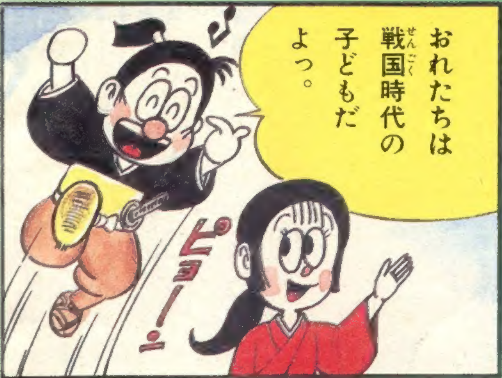
◀約100年間も続く戦国の世のきっかけとなる、応仁の乱。

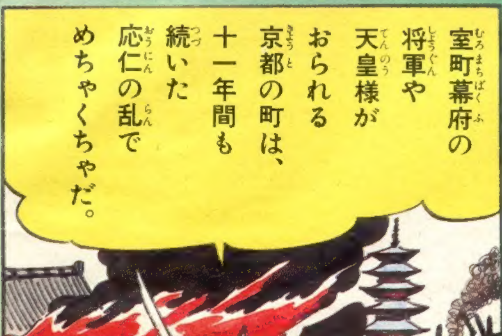
（真正極楽寺）

人物まんが

# 信長と秀吉と家康を読む前に

織田信長、豊臣秀吉、徳川家康は、同じ戦国時代を生き、天下人を目指した武将たちである。今からおよそ四百五十年前に生まれた三人が、どのように生き、何をしたのかを見てみよう。




こんな戦いはもうあきあきだ！
将軍に天下を治める力のないことがわかったからには、自分の国へ帰って領地を広げよう！
こうして日本中が強い者勝ちの戦国時代に入ったのね。
わしの領地じゃ。

人物まんが

# 戦国の世と天下の統一
# 信長と秀吉と家康

絵・ムロタニツネ象

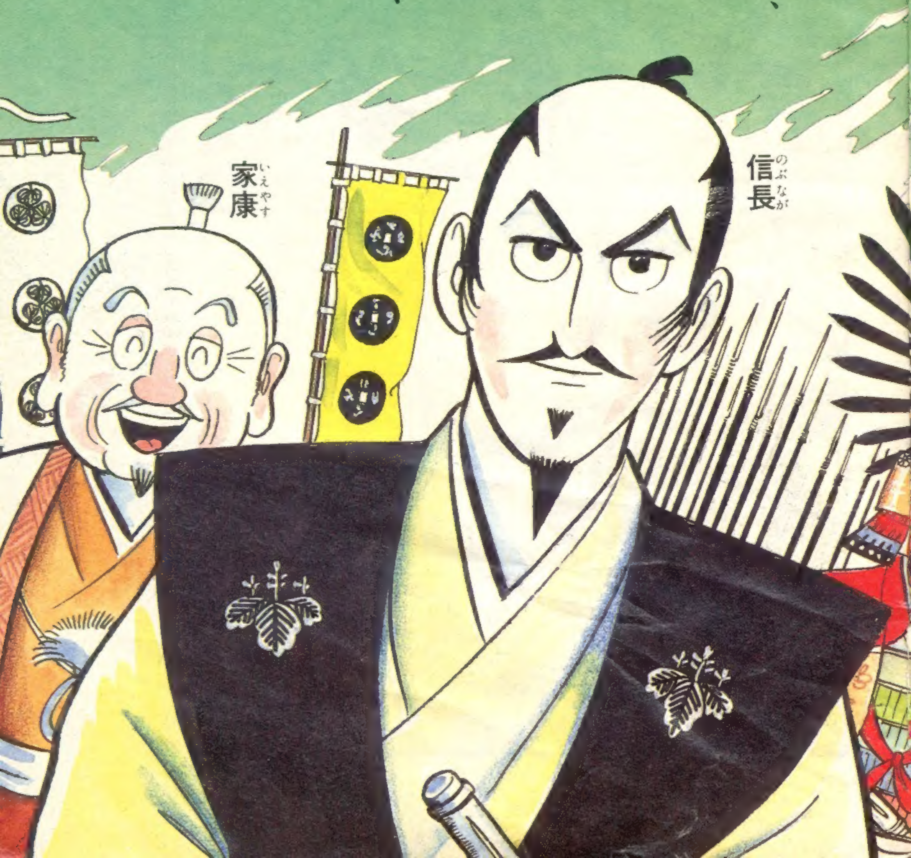
戦国時代は、
強い者が弱い者を
ほろぼしていく
弱肉強食の



時代である。

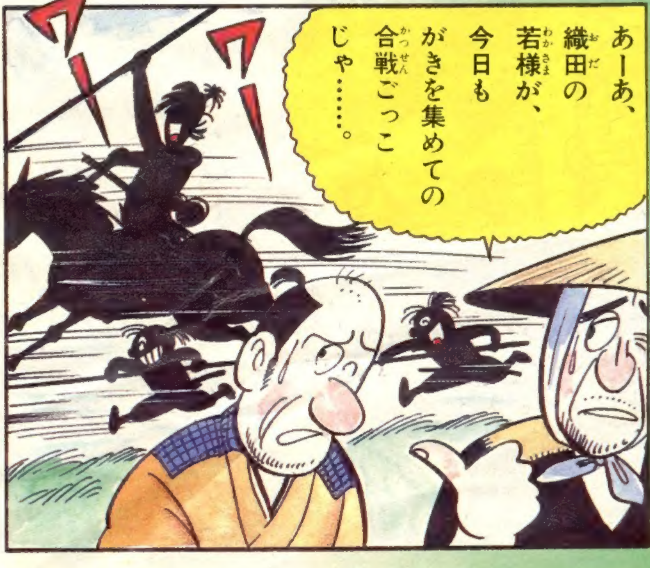
このような時代に、乱れた世の中を支配しようとする強力な武将たちが現れてきた……。

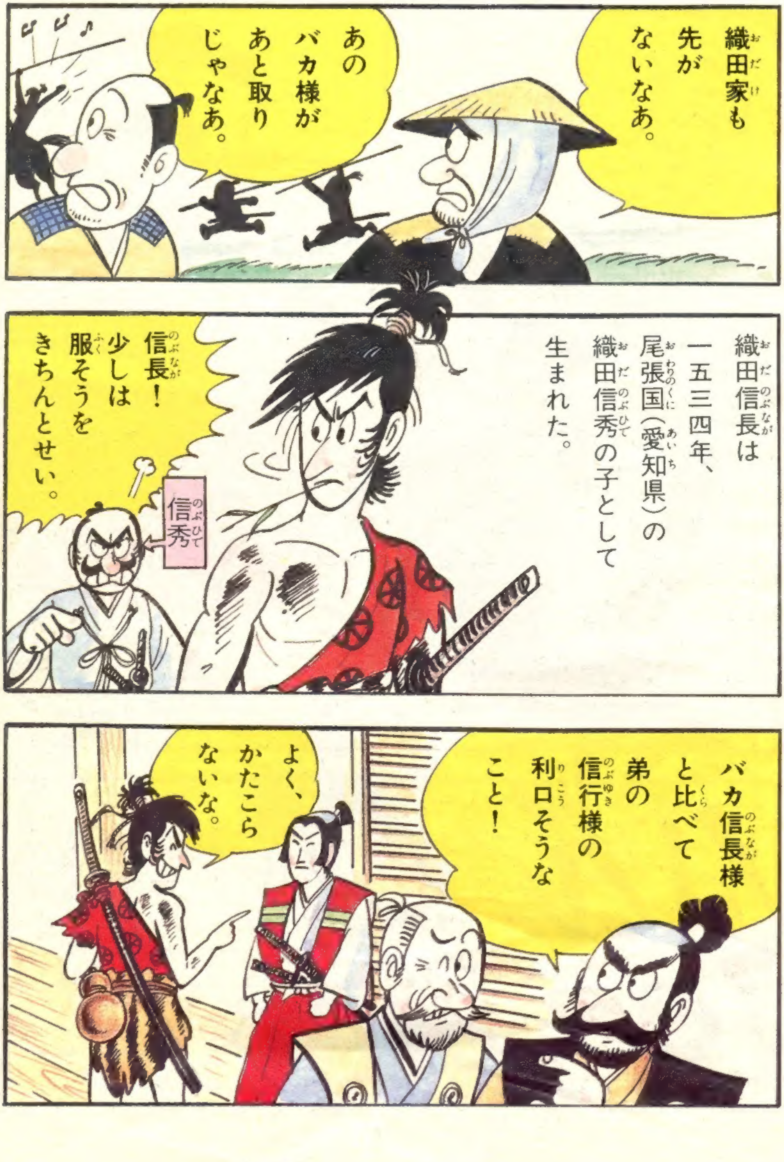
それは、織田信長、豊臣秀吉、そして徳川家康たちだ。



# 一 若き日の信長・秀吉・家康




織田家も先がないなあ。
あのバカ様があと取りじゃなあ。
織田信長は一五三四年、尾張国（愛知県）の織田信秀の子として生まれた。
信長！少しは服そうをきちんとせい。
信秀
バカ信長様と比べて弟の信行様の利口そうなこと！
よく、かたこらないな。




＊竹千代…徳川家康のこと。尾張国（愛知県）の織田家に人質としてくらしていた。


竹千代は
一五四二年、
三河国(愛知県)の
小大名
松平広忠の
長男として
生まれた。


松平氏は
弱い大名の
悲しさて、
周りの強い大名に
つかなくては
生き残れな
かった。
織田に
ついた方が
得だぞ
今川に
つけ!
清洲城
織田信秀
今川義元
松平広忠
駿府城
岡崎城



そんなわけで竹千代が六才のとき、今川の人質になる約束をした。
つれてきました、ごほうびください。
信秀
清洲城
義元
駿府城
こっちこっち
あっちあっち
岡崎城
ところが義理の祖父のうらぎりで、織田方へ売りとばされたよ。
わたしが大名になれたら、絶対うらぎらない家臣を持つぞ……


なるほど、そういうことか。しかしおまえのおやじは、かわいいむすこが織田の人質になったのに、よく今川方についておれるなあ！
父は約束を破るような人じゃありませんっ。
父をうらんでなんかいませんっ。
気に入ったっ！おやじにおまえを切らせはせんぞ。
ナデナデ

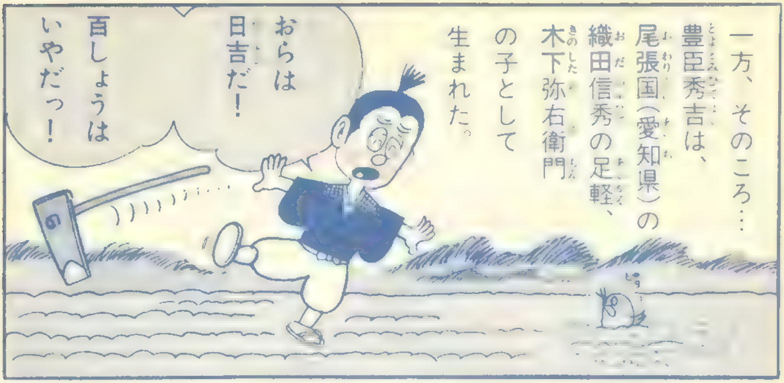


竹千代の織田家での人質生活は二年あまりで、
やがて今川とのほりょ交かんの形で、今川義元の駿府城へ移されたよ。
このつらい少年時代の人質生活で、竹千代(のちの徳川家康)のがまん強さは育っていったのね
一五五五年
竹千代も十四才になったか。
➡今川義元
わしの名の一字、元をやろう。松平元信を名乗るがよい。


そしてわしの親せきのむすめと結こんするのじゃ。
はい。
フフフ……これで松平もわしの親せきとなる……。
パチ
政略結こんというやつよ。
今川義元のライバル、織田信秀は、信長か十八才のとき死んだ
あっ
おやしのハカーッなせ死んだーっ

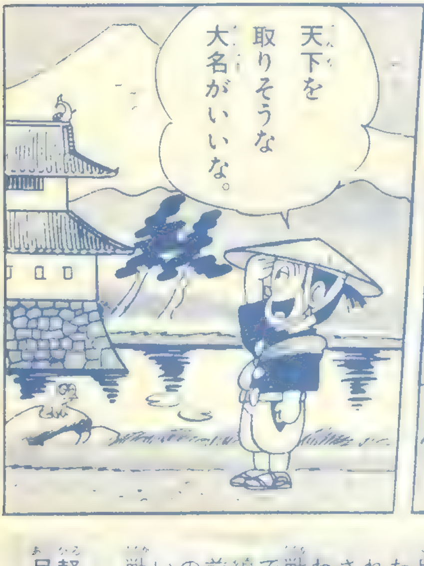

なんたる態度!仏前で……
あれでは仏が浮かばれまいて……。
うつけ者の信長様にはついていけん!信行様をわれらの主君に!
織田家のためだ!
なるほど、やはりな……
柴田勝家が弟の信行をかつぎ出してむほんか……。


尾張のうつけの仮面をぬぐときがきたようだな。
それっ進げきじゃ
ドドドド
ブルルル…
信長は、いったんこしをあげると、風のようにすばやい動きで、弟たちの反乱をしずめてしまったよ。
ドドドド
ハハハ……。今度だけは、許してつかわそう！信長をなめるなよっ。

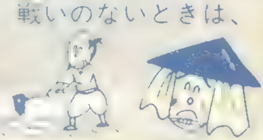


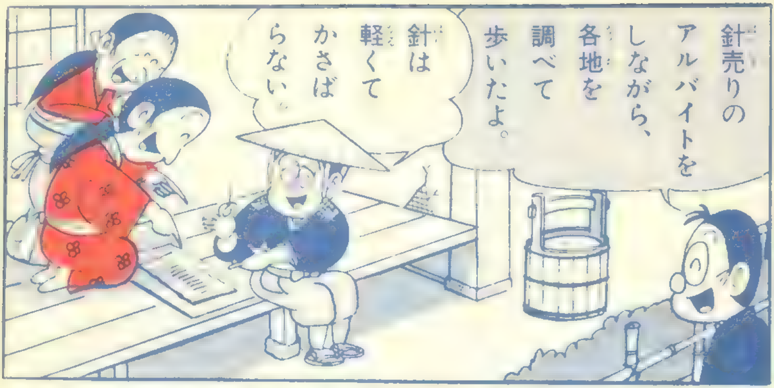




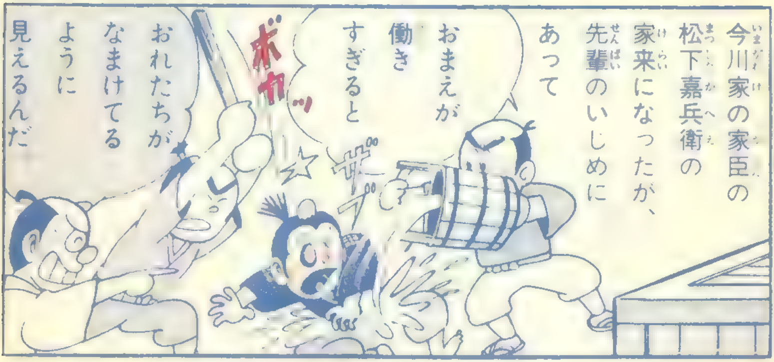



**足軽**…戦いの前線で戦わされた兵士で、戦いのないときは、農民として、田畑を耕して生活していた。

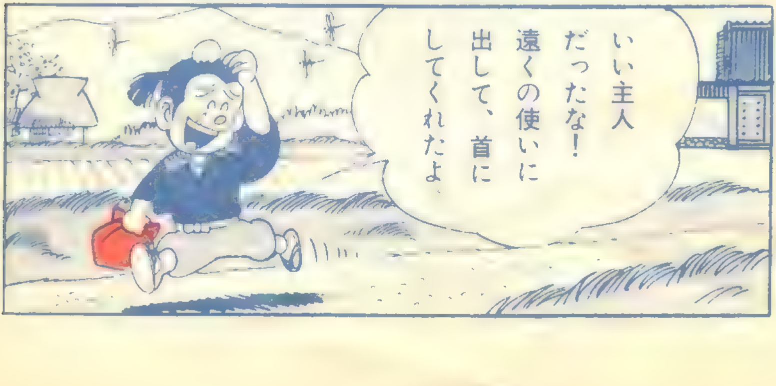




針売りのアルバイトをしながら、各地を調べて歩いたよ。
針は軽くてかさばらない。

今川家の家臣の松下嘉兵衛の家来になったが、先輩のいじめにあって
おまえが働きすぎると
ボカッ
ザブ
おれたちがなまけてるように見えるんだ

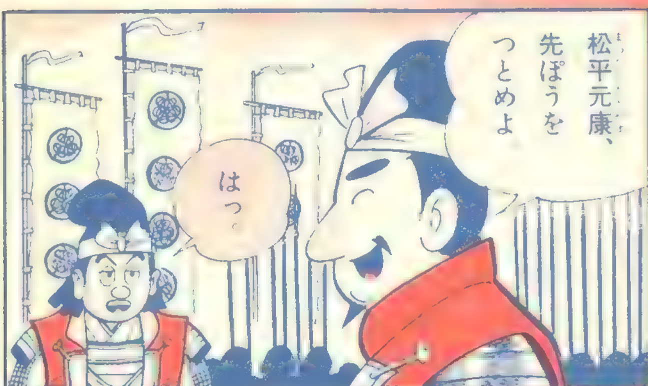
いい主人だったな！遠くの使いに出して、首にしてくれたよ。

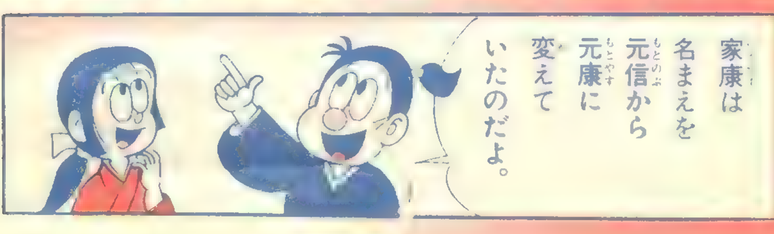

おう
あれが！
尾張の大うつけと評判の……
ザザザ
決めたぞっ！
信長様はばかどころか、天下を取る方だ！
信長様のぞうり取りになれた！
ぞうり取りは、ぞうりを出したりそろえたりする身分の低い係よ


無礼者、わしのぞうりをしりにしいておったなっ。
いいえ
では、あたたまっているのはどういうわけだっ
寒い朝ゆえ、ふところに入れ、あたためておきましたので……
なにっ
胸を見せい。
パッ
ピシャッ
よし、気に入ったぞサルッ。

# 二 桶狭間の戦い


京都に今川の旗を立て、天下に号令をくだすのはこの今川義元じゃ。


松平元康、先ぽうをつとめよ。
はっ。


家康は名まえを元信から元康に変えていたのだよ。


京都に兵を進め、天下に号令するのは、戦国大名のゆめだったよ。
一五六〇年五月
今川の大軍は東海道を進み、織田領へ攻め入った。
ドンドオ〜ン
ハハハ……、織田方のていこうはほとんどないではないか。
清洲城にこもって、ふるえておるのだろう。ハハハ……。


あすは清洲城を攻め落とし、信長の首実検じゃ。
さあ、前祝いじゃ。飲め飲め。
ん？なんじゃあの音は。
ガチャガチャ
バキッ
なに！織田のしゅうげきだとっ！

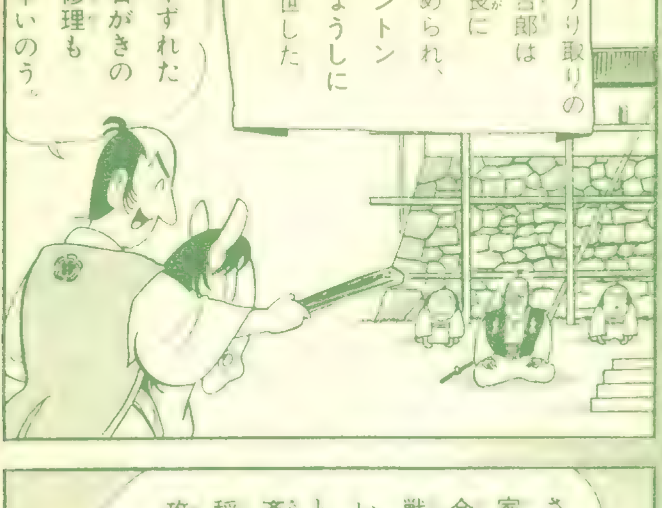

信長はこういう作戦で奇襲をかけた
熱田神宮
谷間なので敵の陣形は細長くのびきり、大雨で油断しているはずだ
上野街道
その弱点を攻めたのだ。
家康
大高城
太子ヶ根
あっあんな所から!
桶狭間


大高城で義元のとう着を待っていた松平元康は
なんだと、義元様が殺されたと！
今川方は総くずれです！
との、今こそ独立のチャンスですぞっ
よしっ。
ふるさと岡崎城へ帰ろう。
これで人質生活ともおさらばだ！ハハハ……
ドドド
ドド


桶狭間の大勝利で、信長の勇名は天下にとどろいたよ。
やるのう！尾張の大うつけめ。
←武田信玄


義元のいない今川はもうガタガタだ。
元康の元の字は返して家康と名乗り、信長どのと同盟を結ぼう。
よし、家康どのは東へ、わしは西を攻めとろう。
斎藤氏の稲葉山城
信長
清洲城
家康
今川
北条
岡崎城
浜松城

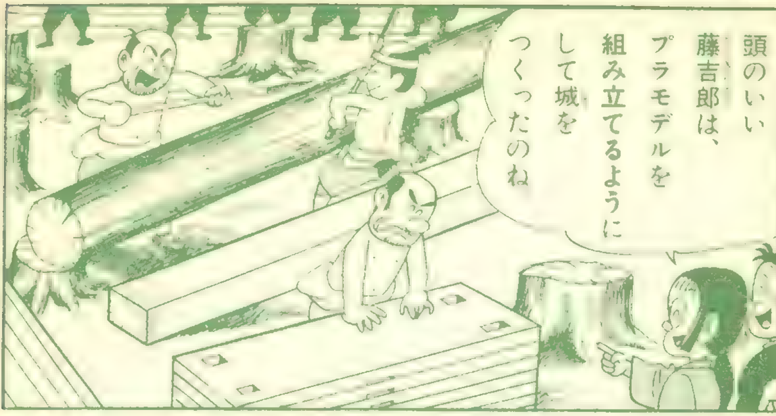
# 三 木下藤吉郎、墨俣城を築く

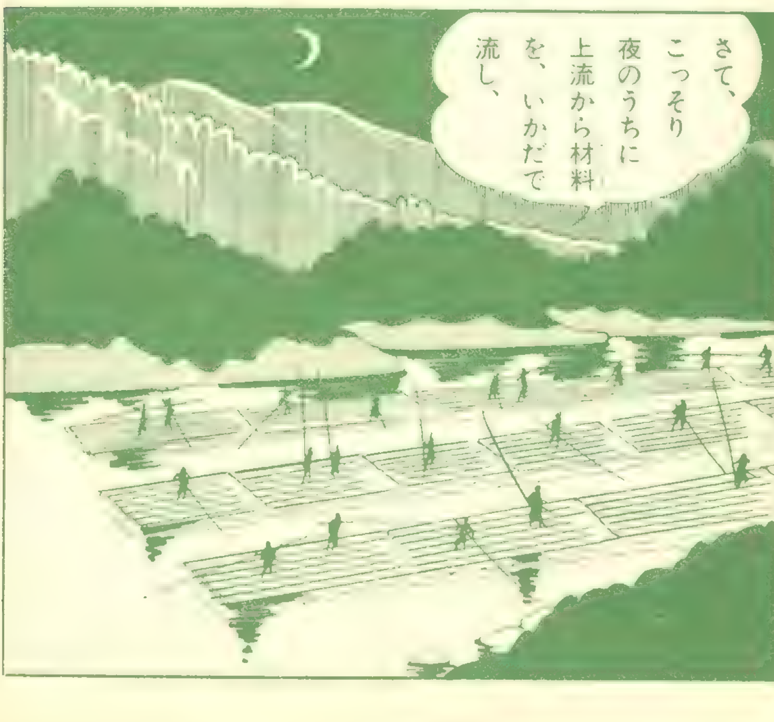


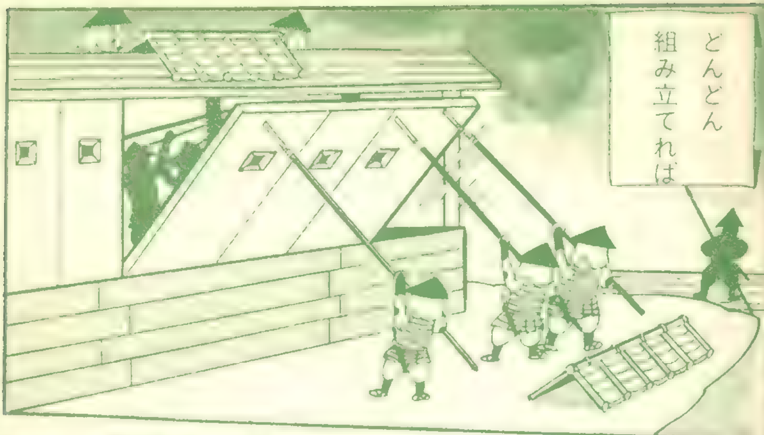


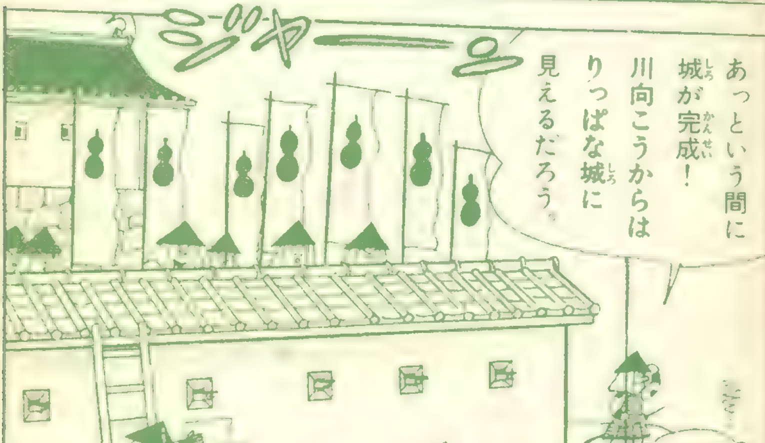


稲葉山城を
攻めるには、
長良川と木曽川
と揖斐川が
合流する
墨俣に城を
築かねば
ならんが……
あそこは
無理だ。
何回も
失敗して
いるし……
敵の見て
いる前で
工事を
やるのだ
からの
う!
はいっ、
はいっはいっ、
藤吉郎めが
やりますっ。
死にに
行くような
ものだ
……、
ばかザルめ。


頭のいい藤吉郎は、プラモデルを組み立てるようにして城をつくったのね


さて、こっそり夜のうちに上流から材料を、いかだで流し、


どんどん組み立てれば


ジャーー
あっという間に城が完成! 川向こうからはりっぱな城に見えるだろう。
紙の石がきじゃハハハ……


えらいぞ
藤吉郎！
墨俣城を
足がかりにして、
稲葉山城も
落とせた
墨俣城には
そちが住め！
名も秀吉と
名乗るが
よいぞ！


稲葉山城も
今日より
岐阜城と
名を変え、
わしが住む

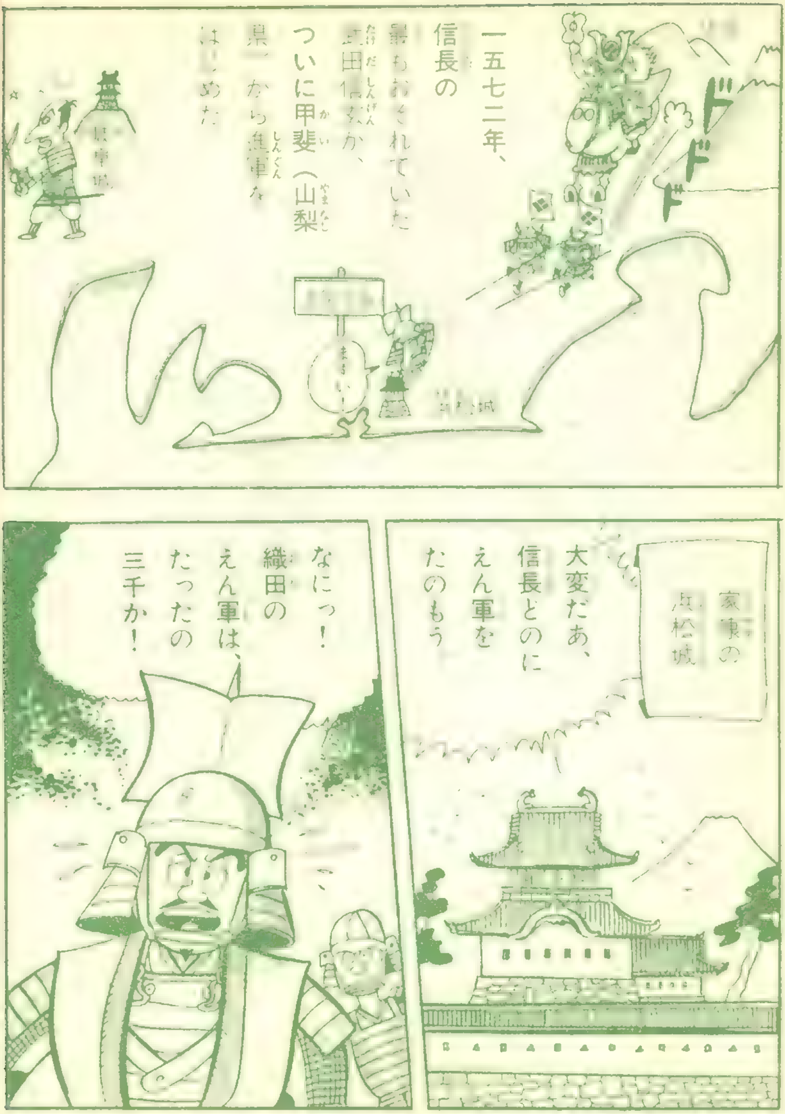

（現在の岐阜城）

# 四 三方ヶ原の戦いで家康完敗!




信玄を中心に打とう信長の連合軍ができあがったよ、
まあ！信長の妹のお市の方のだんなさんの浅井氏も敵側ね。
信玄
浅井
信長
北条
家康
くそっ、敵に囲まれてしまった


アチアチアチ
僧が政治に口を出すので、信長は比叡山を焼きうちにしたよ。
なんと、三千人が焼き殺されたというぞ
信長は、鬼か！仏のばつをおそれぬのか…
信長には神も仏もないわい！わしが神じゃ！ガハハ……


一五七二年、信長の最もおそれていた武田信玄が、ついに甲斐（山梨県）から進軍をはじめた
まずい！
家康の浜松城
大変だあ、信長どのにえん軍をたのもう
なにっ！織田のえん軍は、たったの三千か！


家康め、浜松城に閉じこもったか!
城攻めは時間がかかる城外へおひき出してくれよう
三方ヶ原へさそい出された家康は、こてんはんにやっつけられた
さすが戦の神、信玄はおそろしい
ドドド

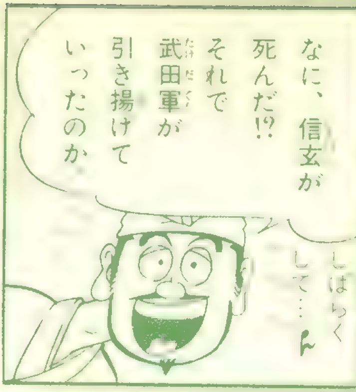

家康は
おそろしさの
あまり、馬上で
おしっこを
もらしたほど
だったよ
パカ
パカ
パカ
ああーっ!!
そんなこと
バラさないで
くれっ、
ドサ
もう
やけくそ
だっ!
勝ちほこった
武田の
大軍が
おし寄せたら、
こんな城
すぐに
落城だ
城門は
開けた
ままで
よいぞ



ところか浜松城まで追ってきた武田軍は、
やや？
これは？
どういうことだ
入ってくださいといわんばかりに、城門が開けられているぞっ。
きっとこれはわなじゃ
フン、その手にのるか。
ひとまず引き揚げろ


と、との武田軍が引き揚げていきますっ。
フーッ、やれやれ命拾いしたな。
それに三方ヶ原の全軍も甲斐をめざして引き揚げ始めました。
そ、そりゃどういうわけだ？
もうひとおし攻めてくれは、こちらはアウトだったのに
ついてるう〜

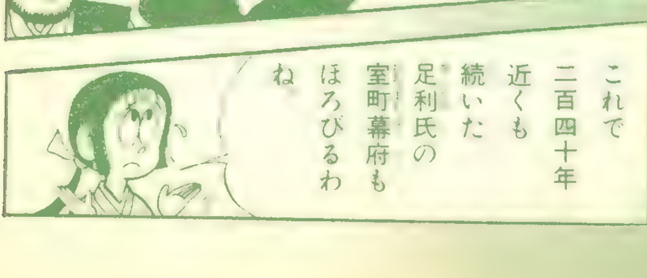
## 五 長篠の戦いで鉄砲隊活やく





▶三方ケ原（現在の様子）

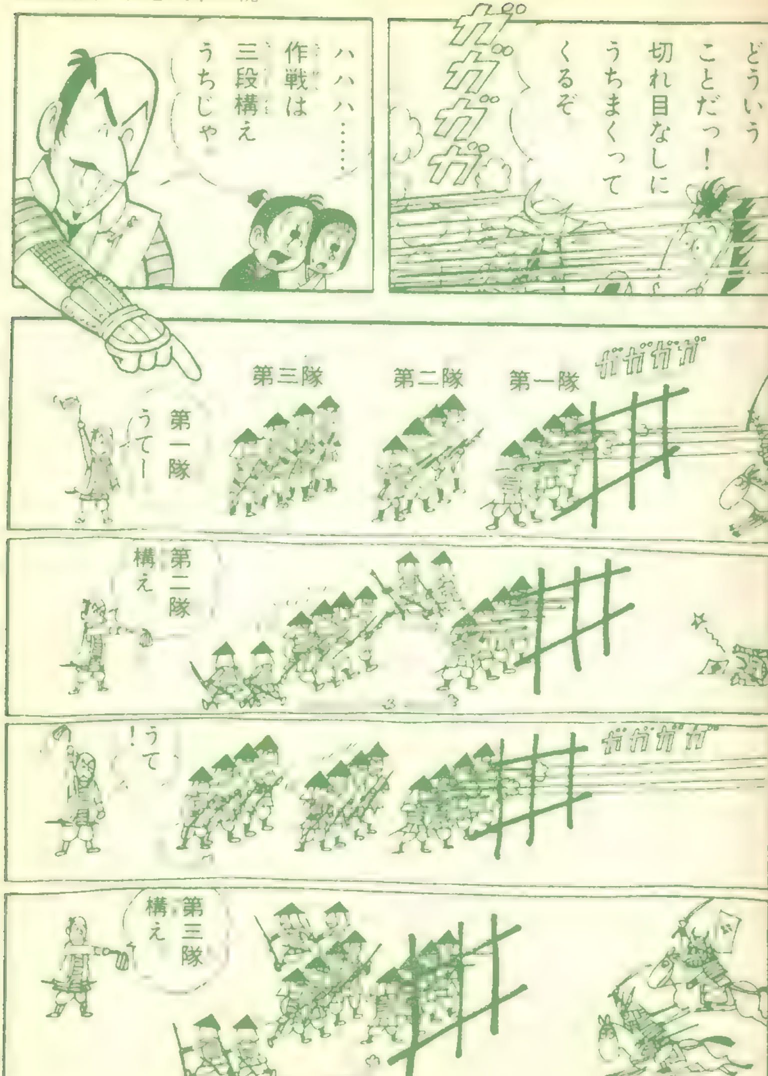



なに！勝頼（信玄の子）がおやじのまねをして、また攻めのぼってくるか！
天下無敵の武田騎馬隊を破る作戦は、ちゃーんとできてるわい。
金はいくらでも出すぞっ！
鉄砲をじゃんじゃんつくれ。
信長は、鉄砲の生産地・堺（大阪府堺市）、国友（滋賀県長浜市）を支配していたので、三千丁もの鉄砲を集めることができたのね。


長篠城が武田軍に囲まれたので、家康どのがえん軍を求めてきました。
よし！
勝頼が、長篠城の近くの設楽ヶ原に攻めてくると
フン、織田・徳川連合軍のさくか。
それっ、あんなさくふみたおして進めっ！


うわ
次の発射まで時間がかかる
その間につっこめえっ

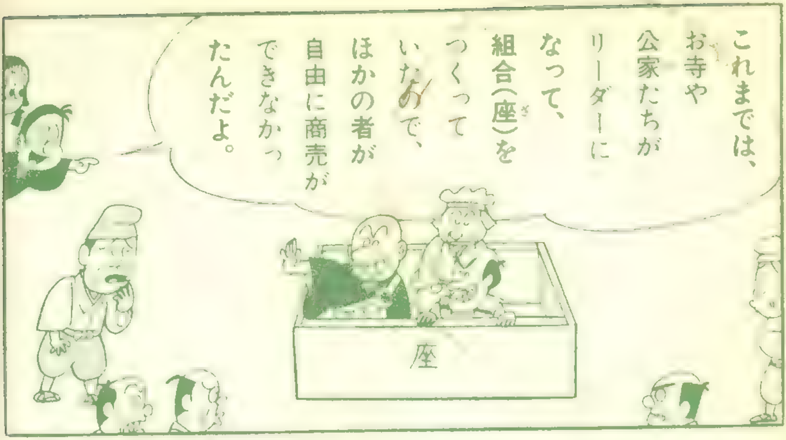

どういうことだっ！切れ目なしにうちまくってくるぞ
ガガガガ
ハハハ……作戦は三段構えうちじゃ
ガガガガ
第三隊
第二隊
第一隊
第一隊うてー
第二隊構え
ガガガガ
うて！
第三隊構え


なるほど、三千丁の鉄砲を、三段構えで連続的にうち続けたのか。
ガガガ
信長の名は再び天下にとどろいたよ
あの無敵の武田の騎馬隊が全めつだとよ。
これから戦のやり方が変わるなあ。
天下を取るのは、やはり織田信長かのう。

## 六 信長は新しい政治を始めた







これまでは、お寺や公家たちがリーダーになって、組合(座)をつくっていたので、ほかの者が自由に商売ができなかったんだよ。
座


わしの領地では関所をなくして、商人が自由に商売ができるようにしたもちろん、売り上げ税などもとらん
これを楽市・楽座といったのね。
商売


ハハハ……
寺や公家は困ったことだろう、
関所てとる通行税も、入ってこないわけだからのう
わしは寺や坊主が大きらいじゃ
長島の一向一揆や本願寺や延暦寺の坊主どもには苦しめられたからのう。
キリスト教を保護したのは、お寺をおさえるのが目的の一つだった




*南蛮貿易…南方地域やポルトガルなどとの貿易。

一向一揆……信長と対立していた本願寺（浄土真宗＝一向宗の総本山）の指図でおこった信者（農民・武士をふくむ）の一揆のこと。

# 七　信長、本能寺で死ぬ

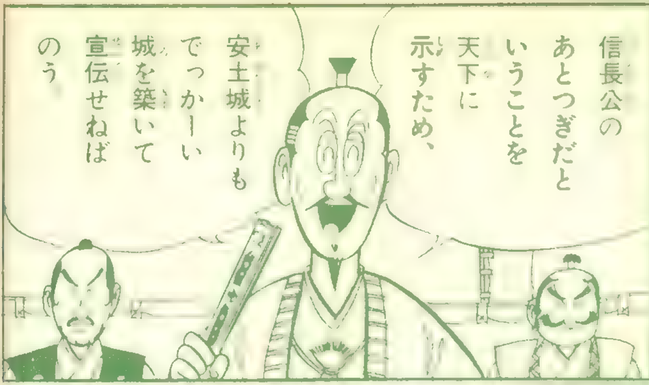

一五八二年、明智光秀のむほんによって、本能寺で信長が殺されたよ
ムネン


中国地方で毛利氏と戦っていた秀吉は、すぐにかけもどって、京都の近くの山崎で光秀を破った。
ドッ
ドッ
ドッ


秀吉は、みごと主君のかたきをとった。
織田家一の実力者だのう。
なにをいうか、実力ナンバーワンは、この柴田勝家じゃぞ
ナンバーワン争いの戦場は、琵琶湖の北の賤ケ岳だったよ。


これも、秀吉のすばやい作戦と行動で秀吉が勝利した
勝家なんてちょろいよ。ほんとうのナンバーワン争いの相手は家康だ

# 八 秀吉の天下取り作戦







➡現在の大阪城天守閣



信雄様！あなたは信長公の子、大阪城にはあなたが住むべきではありませんか
よし！生いきな秀吉をうとうぞ。
大阪城の工事中に、織田信雄をおし立てた家康が兵をあげた。
ドドン
家康め、信雄を利用して、戦の理由をつくったな
秀吉の実力見せてくれよう。


小牧・長久手の戦い
(1584年)
わしの兵力は五倍だぞ！勝てると思ってんのかー。
岐阜城
犬山城
戦は数ではないぞー。
小牧山
大留城
長久寺
そうだそうだ
小幡城
清洲城


家康のすばやい行動と作戦にふり回され、秀吉はくたくたたった。
ドドドド
長久寺にいる家康をうって、
大山城
大留城
長久寺
敵の裏をかいて大勝利!
小牧山
ピョン
ピョン
ピョン
小幡城
おそいよく、秀吉方の大将が、四人も首をとられたあとだ。
ここと思えばまたあちら、スピード戦だ


さすが家康！思ったより手ごわい……。
長引いては、わしの人気と実力が天下に疑われる。
まず信雄をまるめこんで、講和を結ぼう。
れっ れっ。
あれっ？信雄が秀吉と仲よくなっちまったぞ、まずいなあ。

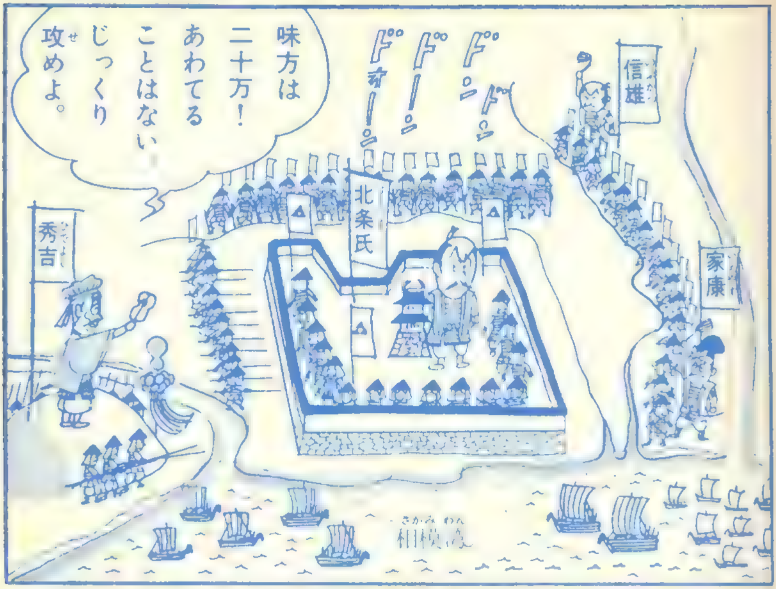


秀吉と戦う理由がなくなってしまった……。
戦では勝ったが、秀吉の政治力には負けた。
大阪城
家康との講和は結ばれたが、大阪城に呼びつけて臣下の礼をとらせたいものじゃ。
浜松城の家康
のこのこ出かけていって、殺されたらつまらん……。
ベ〜〜〜ロ
招待に応じないか……。


それではこうしよう。わしの妹を、家康どののよめにやろう。母も妹と会うという理由をつけ、人質に送ろう。
大阪城
浜松城
それまでいうなら大阪へ行ってやるか……!
対面の前夜
こっそり秀吉どのがたずねてきました。
家康どの、あしたの対面式では大名たちの前で少々いばってみせるが、がまんしてくだされ。
日本をまとめて平和な国にするためじゃ、よろしく!
ズイ
グッ


こうして一五八六年、秀吉と家康は対面したよ。
家康！あいさつご苦労であるぞ。
ははぁ〜っ
関白殿下にはご気げんうるわしう……。

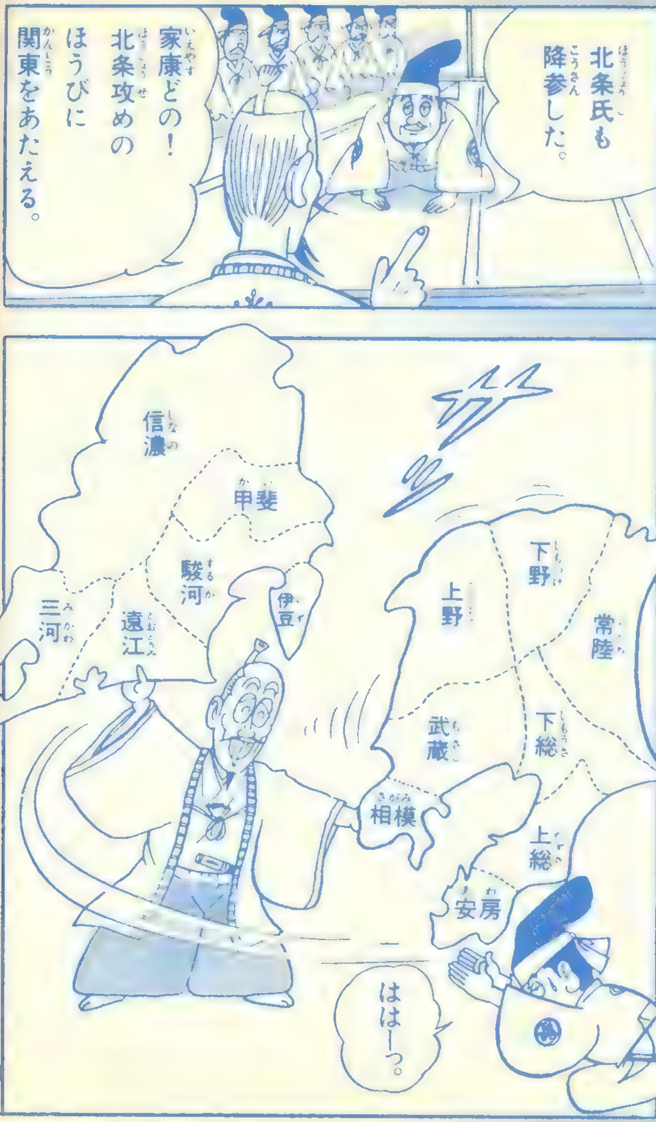

秀吉は勢いに乗って、九州の大名までを従えてしまったよ。
九
州
残るは関東の北条と、東北の伊達政宗か。
秀吉は従えた大名を総動員して、北条氏の小田原城を攻めた

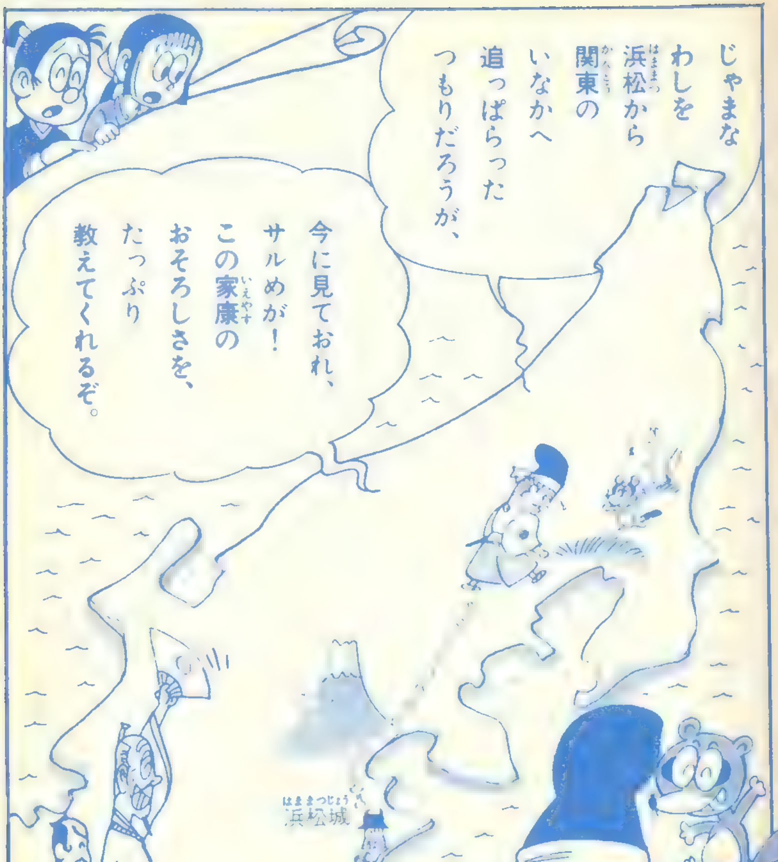

味方は二十万！あわてることはない。じっくり攻めよ。
信雄
北条氏
秀吉
家康
相模湾


なに！ 今ごろ会津から、政宗がのこのこあいさつにやってきたかっ！
ギロ

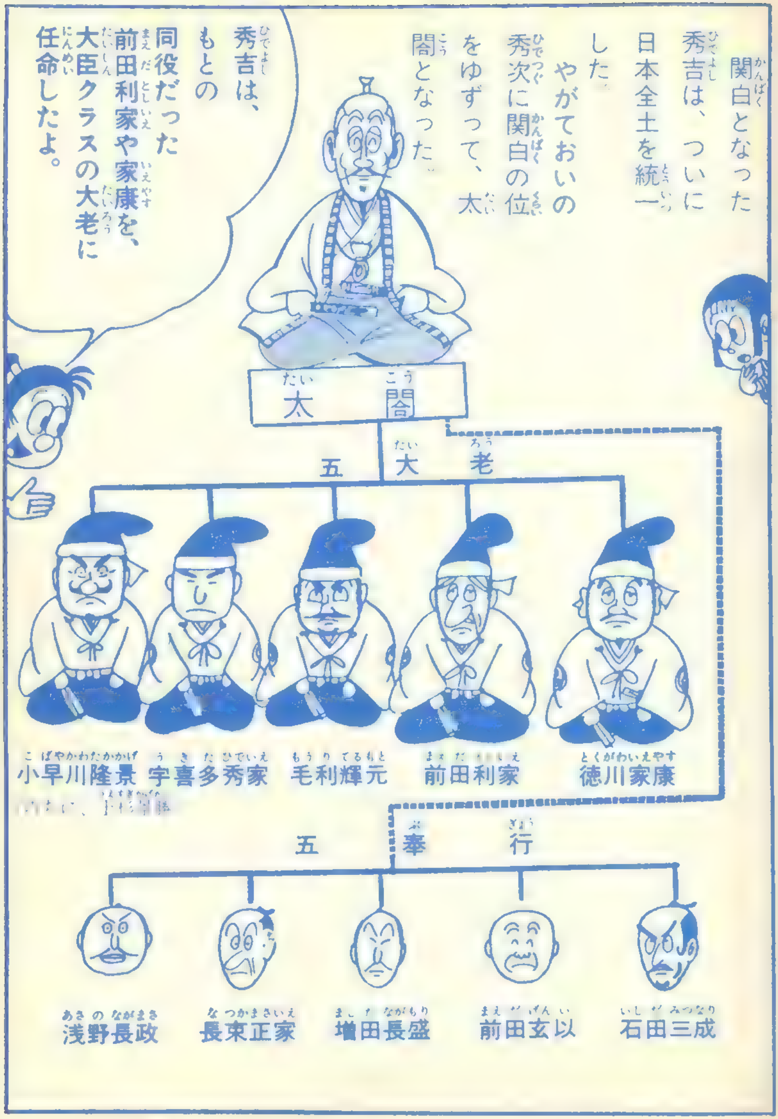

ちこくは許してやる。小田原城が落ちる前でよかったのう、ハハハハハ……。
ピクピク

# 九 朝鮮へ兵を出して失敗する



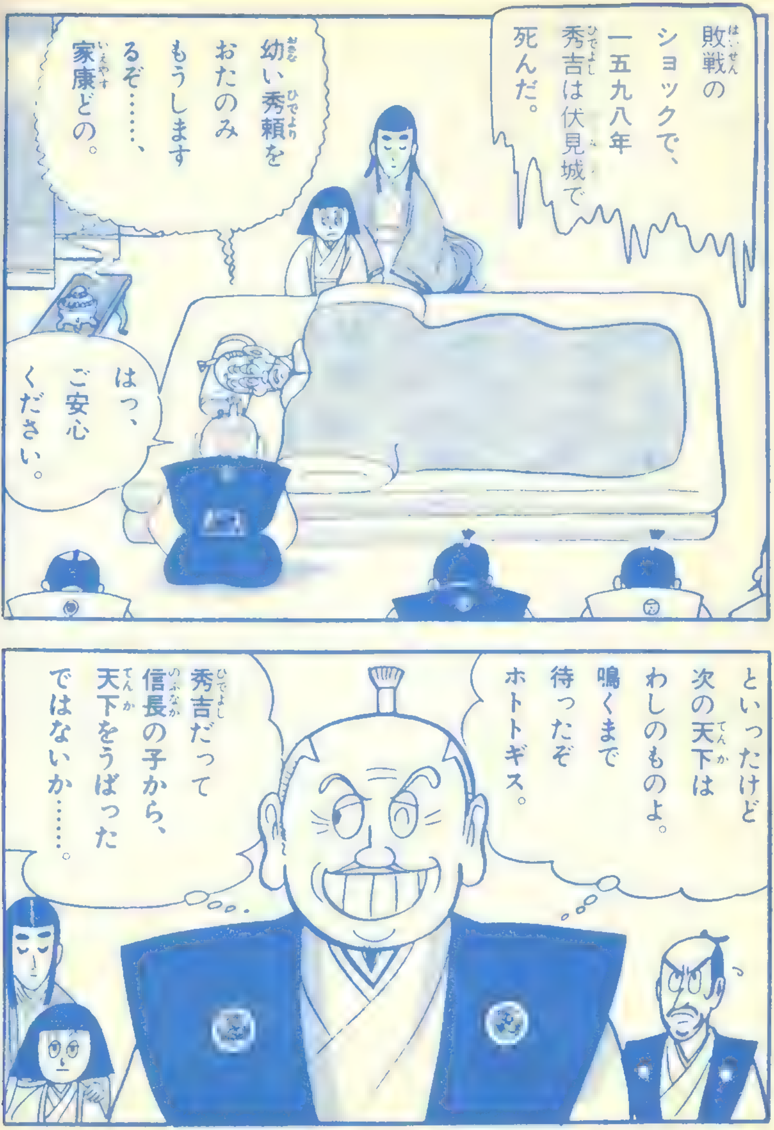

じゃまなわしを浜松から関東のいなかへ追っぱらったつもりだろうが、
今に見ておれ、サルめが！この家康のおそろしさを、たっぷり教えてくれるぞ。
浜松城
大阪城


これより数年前、秀吉は…
天下はほぼわしのものじゃ。しかし、わしは源氏の子孫ではないので武士のボス征夷大将軍の位が、天皇からもらえないのじゃ。
足軽の子
だから幕府をつくれん。
なんとか天下を治める組織をつくりたい。
ではこうなさってはいかが……。
なに！藤原氏のように関白の位をか！
それはいい！関白になって大名どもをおさえてやろう。


関白となった秀吉は、ついに日本全土を統一した。
やがておいの秀次に関白の位をゆずって、太閤となった。
秀吉は、もとの同役だった前田利家や家康を、大臣クラスの大老に任命したよ。
太閤
五大老
小早川隆景
宇喜多秀家
毛利輝元
前田利家
徳川家康
五奉行
浅野長政
長束正家
増田長盛
前田玄以
石田三成


さて、日本をこの手ににぎったら、次は明国(中国)を攻めとるかのう！
えっ！本気ですかっ。
秀吉は朝鮮に、明国に攻めこむ案内を命じたよ。
そんな命令きくわけないわよねえ。
まず、わしの命令をきかぬ朝鮮をうてっ。
太閤殿下！家康めは関東のいなかに引っこしたばかりで、
江戸の町づくりで手いっぱい……。兵を出す余ゆうがありません。

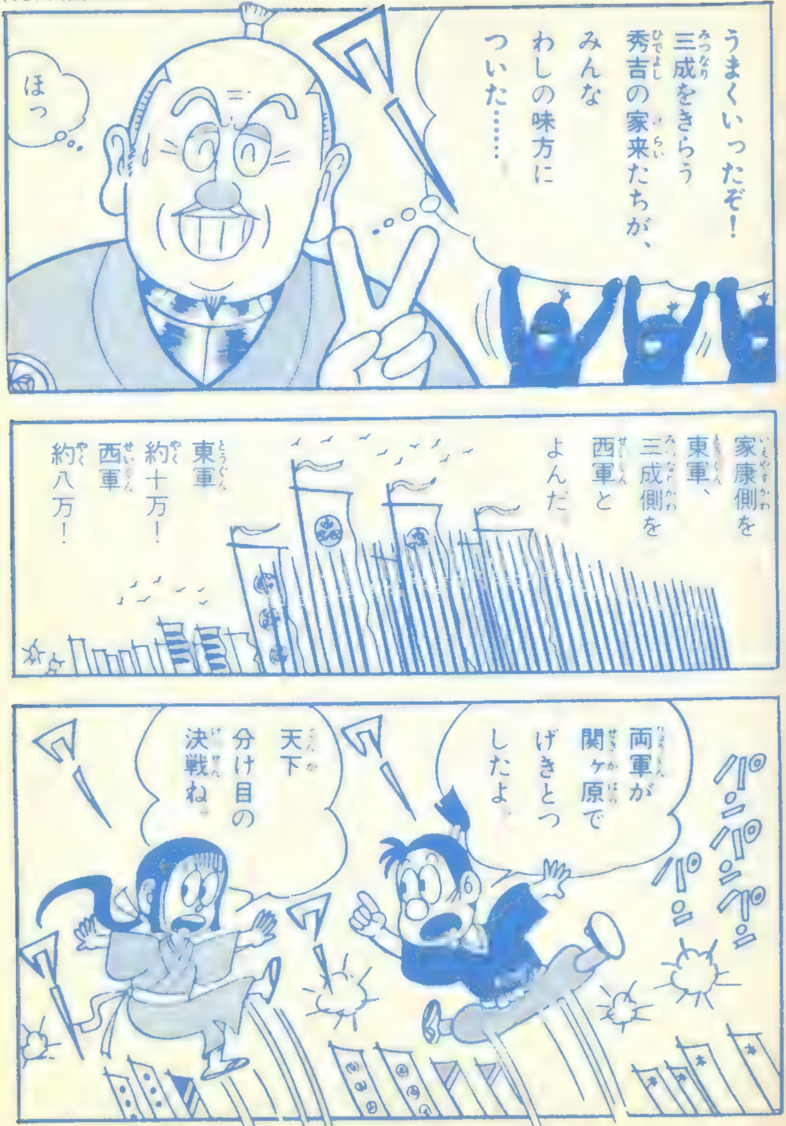

一五九二年（文禄の役）
一五九七年（慶長の役）と
二度朝鮮に攻めこんだけど、
明国のえん軍にたたかれて、
失敗に終わった
わね。
ドドドドドド
朝鮮半島
明
名護屋城
ドボン
ドボン


敗戦のショックで、一五九八年秀吉は伏見城で死んだ。
幼い秀頼をおたのみもうしまするぞ……、家康どの。
はっ、ご安心ください。
といったけど次の天下はわしのものよ。鳴くまで待ったぞホトトギス。
秀吉だって信長の子から、天下をうばったではないか……。

# 十 関ケ原の戦いで、家康天下をとる

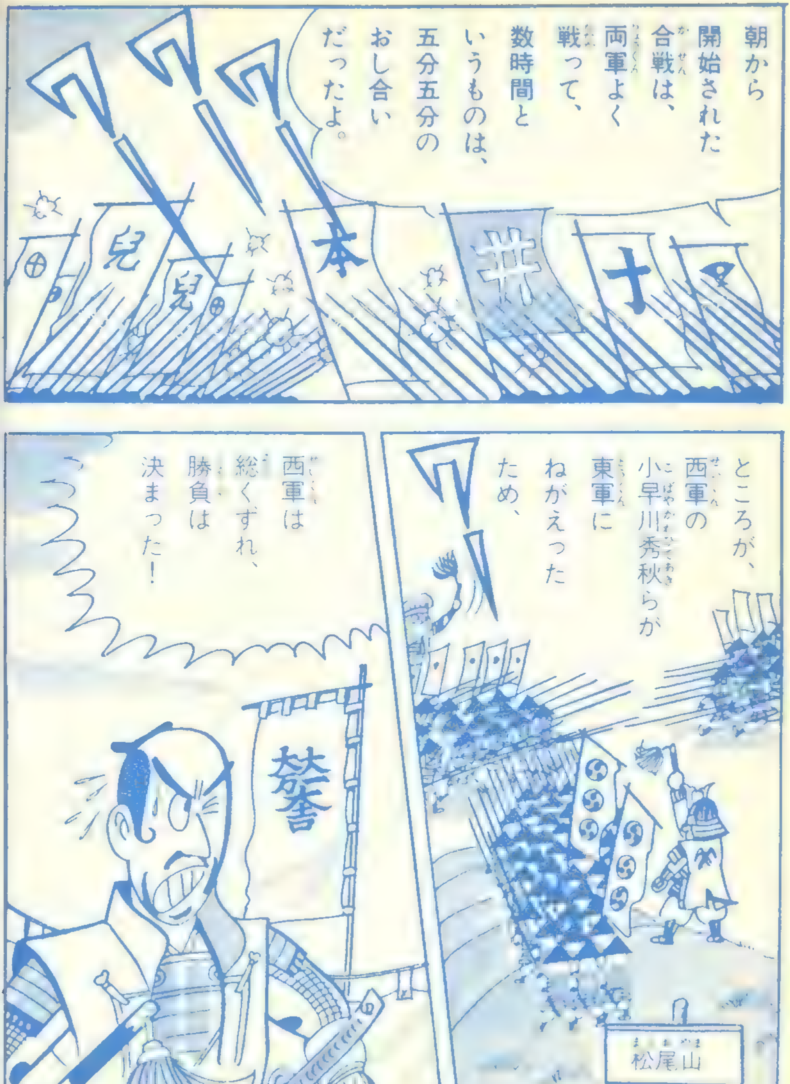



おもしろい、裏をかいてやろう。
会津への進軍は、できるだけゆっくり進め。
下野（栃木県）小山へきたとき
三成が兵をあげた！秀吉公に恩を受けた大名も、この陣中におられる。
三成方につこうと自由である！
なんの！敵は秀頼公の名をかたる三成だけじゃ。Uターンして三成をうち取りましょう。


うまくいったぞ！三成をきらう秀吉の家来たちが、みんなわしの味方についた……
ほっ
家康側を東軍、三成側を西軍とよんだ。
東軍約十万！西軍約八万！
両軍が関ヶ原でげきとつしたよ。
天下分け目の決戦ね。


これが天下分け目の関ヶ原の戦い
(1600年)
西軍に包囲されているように見えるが、吉川と小早川は味方につく約束じゃ。
家康本陣
浅野
吉川
桃配山
毛利
安国寺
長束
南宮山
南宮山にいた西軍は家康に攻めかからないわね。


南宮山の西軍はどうした?
石田
島津
宇喜多
大谷
福島
本多
赤座
小川
杉本
脇坂
小早川
ドドン
松尾山
松尾山に陣をしいていた小早川らの西軍も攻めかからない。


朝から開始された合戦は、両軍よく戦って、数時間というものは、五分五分のおし合いだったよ。
ところが、西軍の小早川秀秋らが東軍にねがえったため、
松尾山
西軍は総くずれ、勝負は決まった！

## 十二 家康、江戸幕府を開く







わしに
味方した大名
でも、外様大名の
領地は江戸から
遠ざけて、
わしの周りは
徳川の一門や
もとからの
家臣でがっちり
かためちゃうのだ。
外様大名
領地
豊臣氏の
領地も、
十分の一
くらいにへら
しちゃった。
豊臣め、
じわ
じわと
力をけずっ
てやる。

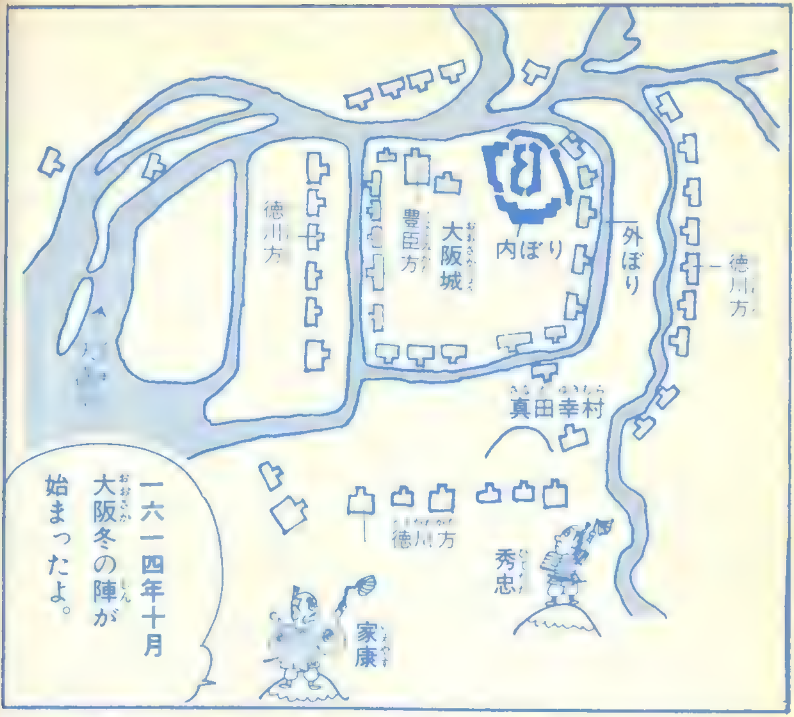

一六〇三年
えっ、家康が征夷大将軍に！
淀君
秀頼
きっと秀頼が成人したら、二代将軍にされるおつもりでしょう。
ニコッ
一六〇五年
なに！家康がいん居して、むす子の秀忠に将軍の位をゆずったともうすのか。
ブルブルブル

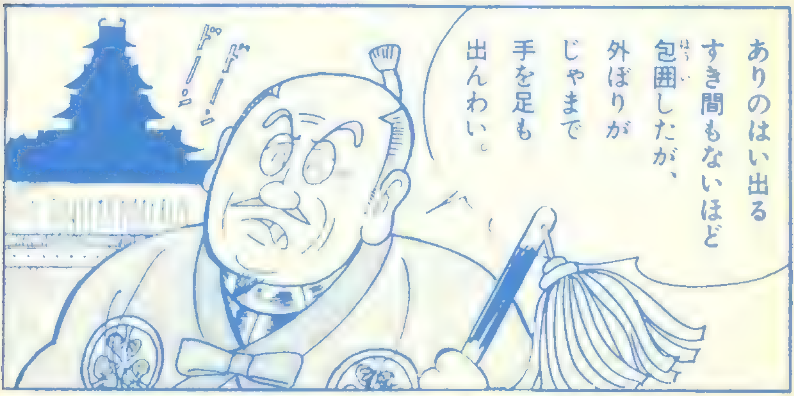

ハッハッハ、今さらあわててもおそいわい。
初代将軍
二代将軍（秀忠）
三代将軍（家光）
四代
五代
六代
七代
八代
武士のボスたる将軍職は、徳川家が代々つぐことに決めたんじゃ。
しかしそのためには、わしの生きている間に、豊臣氏をほろぼしておかねばのう。
大阪城のばく大な軍資金をなくす方法がありますぞっ。


秀吉が建てた方広寺の再建をさせたよ。
九年もかかった大工事で、お金をたっぷり使ってしまったわ。
これで、軍資金がへっただろうて。
あとは、戦をしかける理由があればいい。
えっ、なんともうした。
方広寺のつりがねの文字がけしからんとなっ。

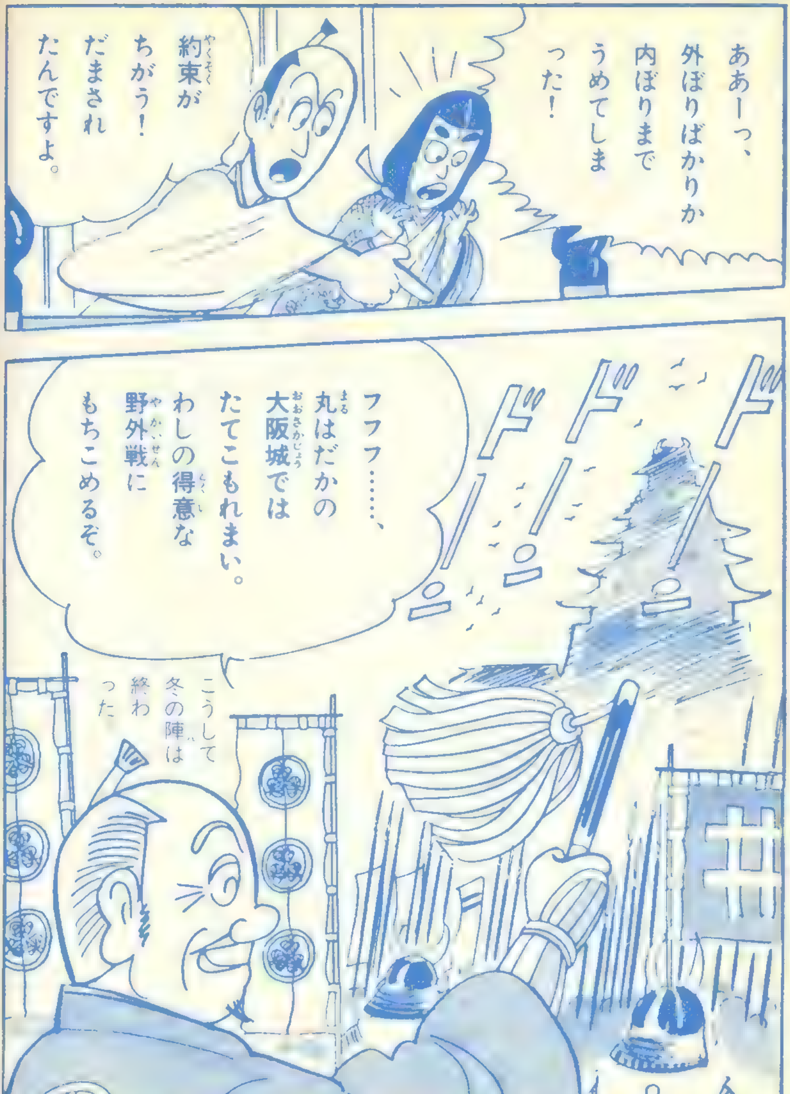

国家安康
君臣豊楽
(かねの文字)
わしの名家康をまっ二つ。
ガァ～ン
家と康を切って徳川をたおし豊臣が栄えるという意味じゃと!
こじつけじゃ、いいがかりじゃ。

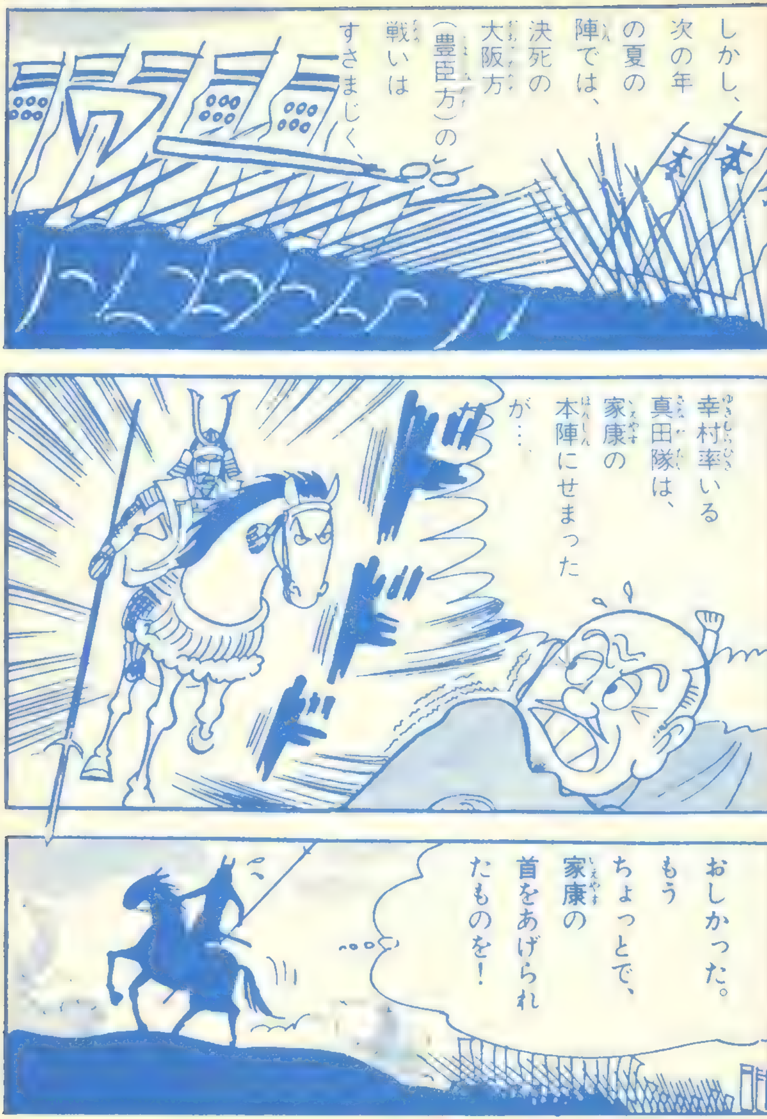

あやまる方法は二つ。秀頼が大阪城を出るか、淀君が人質として、江戸へ来るかじゃ！
どちらも聞けぬ。決戦じゃ！
なに、太閤殿下に恩を受けた大名たち、一人としてかけつけぬとなっ！
こちらには天下の名城大阪城と、この真田幸村がおります。
徳川などに負けはしません。


外ぼり
内ぼり
大阪城
豊臣方
徳川方
徳川方
真田幸村
徳川方
秀忠
家康
一六一四年十月
大阪冬の陣が
始まったよ。


ありのはい出る
すき間もないほど
包囲したが、
外ぼりが
じゃまで
手を足も
出んわい。
ドー
ドー


長期戦になっては、
味方の
大名の中から
裏切り者が
出るかも……。
よし、
だまし
うちに
してやろう。
なに休戦とな、
ホホ……
講和の
条件は、
外ぼりを
うめること
だけか。
よい、
よい
許すぞ。
さあ
急いで
ほりを
うめろ!


ああーっ、外ぼりばかりか内ぼりまでうめてしまった！
約束がちがう！だまされたんですよ。
ドドドド
フフフ……、丸はだかの大阪城ではたてこもれまい。わしの得意な野外戦にもちこめるぞ。
こうして冬の陣は終わった。


しかし、次の年の夏の陣では、決死の大阪方(豊臣方)の戦いはすさまじく、
幸村率いる真田隊は、家康の本陣にせまったが……
おしかった。もうちょっとで、家康の首をあげられたものを！




*羽柴…秀吉のこと　羽柴秀吉ともいった

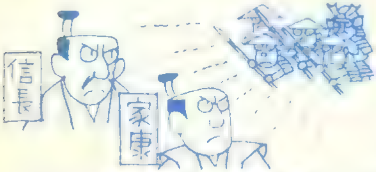
# 人物まんが信長と秀吉と家康のまとめ

**一** 一五三四年、尾張国（愛知県）に織田信長は生まれた。二十七才の時、今川義元を桶狭間の戦いでほろぼした。

**二** その結果、義元の人質となっていた徳川家康は解放され岡崎城に帰った。強力になった信長は、岐阜城を根きょ地にして、次第に力を全国にのばしていった。

一方、武田信玄を中心にして反織田の同盟が作られ、信長をとり囲んだ。



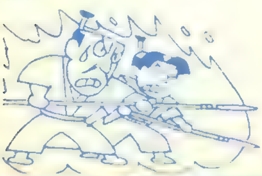



**三** 一五三六年、尾張国に生まれた豊臣秀吉は、二十才のころ、信長に仕えた。その後、手がらをたてて、次第に信長に重く用いられるようになった。浅井氏がほろんだ後、その旧領地をあたえられて長浜城主となった。

また、信長は家康と同盟を結び、信玄の子・勝頼をほろぼした。

**四** その後、中国地方を攻めるとちゅうで、信長は本能寺で家来の明智光秀におそわれて自殺。



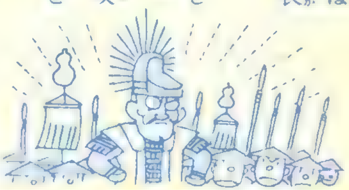



## 五

信長の死後、秀吉は光秀をほろぼして信長の後をついだ。

秀吉は大阪を根きょ地にして、ここに大阪城を築いた。

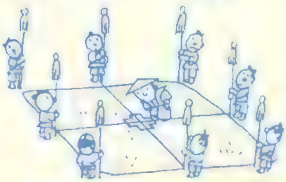
一五九〇年、小田原城を攻め北条氏をほろぼし、全国を統一した。



## 六

秀吉は、統一を進める一方で検地を行い、新しい税金のしくみと農村の支配体制を整えた。

また刀狩を行い、武士と農民の区別をはっきりさせた（兵農分離）これによって、武士の農民支配がより安定したものになった。

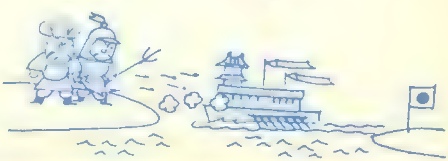


## 七

秀吉は、朝鮮半島にも兵を進め、二度にわたって明（中国）と戦った。しかし出兵は失敗に終わった。

徳川家康は、秀吉の死後の天下を取るために、石田三成と関ヶ原で戦った。

戦いに勝った家康は、一六〇三年、征夷大将軍となり、江戸に幕府を開いた。



## 八

一六一五年、秀吉の子秀頼は母・淀君とともに大阪城にいたが、徳川家康にほろぼされた（大阪夏の陣）。徳川氏による江戸幕府の基礎が定まった。



# 〈戦国の世と天下の統一〉のおもな人物像



【足利義政】一四三六〜一四九〇

室町幕府の八代将軍。あとつぎ争いから応仁の乱が起こるもとをつくった。銀閣を建てたり、茶の湯・能楽を好み、東山文化を発展させた。



【細川勝元】一四三〇〜一四七三

室町幕府の管領・守護大名。山名持豊と対立して応仁の乱を起こし、東軍の総大将として戦ったが、乱の最中に病死した。竜安寺の建立者でもある。



【山名持豊】一四〇四〜一四七三

室町幕府の守護大名。出家して宗全と称し、細川勝元と対立して応仁の乱を起こし、西軍の総大将となったが、乱の最中に病死した。



【北条早雲】一四三二〜一五一九

小田原（神奈川県）の戦国大名。伊勢国（三重県）の浪人だったが、今川氏に仕えて勢力をのばし、北条氏の関東地方支配の基礎をきずいた。



【斎藤道三】一四九四〜一五五六

美濃国（岐阜県）の戦国大名。もと油売りから武士となり、美濃国の守護土岐氏に仕えたが、のち土岐氏を追放し、その領国を支配した。むすめは織田信長の妻。



【毛利元就】一四九七〜一五七一

中国地方の戦国大名。安芸国（広島県）の小領主の出身で、大内氏をたおした陶氏を討ち、山陰地方の尼子氏もほろぼして中国地方を支配した。



【今川義元】一五一九〜一五六〇

東海地方の有力な戦国大名。一五六〇年、大軍を率いて京都へ上る途中、尾張国(愛知県)の桶狭間で、織田信長の奇襲を受け、天下統一の野望をはたせずに戦死した。



【武田信玄】一五二一〜一五七三

甲斐国(山梨県)の戦国大名。軍事面では戦国時代最強の軍団を育て、経済面では産業を発達させ、甲州法度を制定し、領国をよく治めた。



【上杉謙信】一五三〇〜一五七八

北陸地方で勢いをふるった戦国大名で、武田信玄とかたを並べる名将といわれる。信玄との川中島の戦いは名高く、十一年間に五回も戦ったが、勝敗は決まらなかったという。



【足利義昭】一五三七〜一五九七

室町幕府最後の将軍。織田信長の力を得て、十五代将軍となったが、のちに信長と対立するようになり、一五七三年に追放される。これによって室町幕府はほろんだ。



【ザビエル】一五〇六〜一五五二

日本に初めてキリスト教を伝えたスペインの宣教師。イエズス会を設立し、アジアに教えを広め、一五四九年、鹿児島に上陸して布教につとめた。



【織田信長】一五三四〜一五八二

尾張国(愛知県)の戦国大名。京都に上って、室町幕府をたおし、安土城を本拠地として天下統一の基礎を築いたが、統一を目前にして、本能寺で家来の明智光秀に討たれた。



## 【明智光秀】 一五二八～一五八二

丹波国（京都府）の戦国武将。織田信長に仕えて重く用いられたが、のち信長を本能寺におそい、自殺させた。しかし、豊臣秀吉に攻められ、山崎の戦いで殺された。



## 【武田勝頼】 一五四六～一五八二

武田信玄の子。信玄の志をついで東海地方に進出したが、長篠の戦いで織田信長の鉄砲隊に敗れた。のち天目山の戦いで敗死し、武田氏はほろんだ。



## 【柴田勝家】 一五二二～一五八三

越前国（福井県）の戦国武将。織田信長に仕えて、北陸地方で勢力をふるった。しかし、信長の死後、豊臣秀吉と対立するようになり、賤ケ岳の戦いで敗れ、自殺した。



## 【豊臣秀吉】 一五三六～一五九八

天下を統一した戦国武将。尾張国（愛知県）の農家に生まれ、織田信長に仕えて認められた。信長の死後、そのあとをついで天下を統一し、封建制度の土台を築いた。



## 【千利休】 一五二二～一五九一

茶の湯を大成した人。天下一の茶人といわれ、秀吉に仕えて政治の相談役もつとめた。しかし、のちに秀吉のいかりにふれ、自殺した。



## 【徳川家康】 一五四二～一六一六

江戸幕府の初代将軍。三河国（愛知県）の小大名の子として生まれた。豊臣秀吉の死後、関ケ原の戦いに勝って天下の実権をにぎり、一六〇三年、征夷大将軍となって江戸幕府を開いた。







【石田三成（いしだみつなり）】一五六〇～一六〇〇

豊臣秀吉の家臣。[illegible]

[illegible]後、豊臣方の[illegible]康と争ったが、[illegible]

【淀君（よどぎみ）】一五六七～一六一五

豊臣秀吉の側室で、秀頼の母。[illegible]

[illegible]もに自殺した。

【豊臣秀頼（とよとみひでより）】一五九三～一六一五

豊臣秀吉の子。[illegible]

[illegible]が敗れ、母淀君とともに自殺し、豊臣氏はほろんだ。







【真田幸村（さなだゆきむら）】一五六七～一六一五

[illegible]で活やくし、大阪冬の陣のとき、[illegible]た。たくみな戦術で徳川方をな[illegible]した。

【徳川秀忠（とくがわひでただ）】一五七九～一六三二

[illegible]三男で、家康に従って徳川氏の[illegible]

【伊達政宗（だてまさむね）】一五六七～一六三六

[illegible]徳川氏について活やくした。その功によって、仙台六十二万石[illegible]

# 戦国の世と天下の統一Q&A

## Q 戦国時代って、どんな時代かな？

## A

**●百年も続いた戦乱の世**

応仁の乱後、約百年続いた戦乱の世を戦国時代という。この時代に、家来が主君をたおして大名になっていく「下剋上」が行われ、新しい戦国大名が生まれた。

**●戦国大名の望み**

かれらの望みは、京都に出て天皇から征夷大将軍に任ぜられ、天下に号令[illegible]一生を戦いの中で過ごした。



▼室町時代の後半、1467年に起こった応仁の乱。この乱をきっかけにして、日本全土に戦乱が広がり、戦国時代となった。

＊土倉…とくらとも読む。高利貸業者



Q 土一揆とは、どんな一揆かな？

A

●農民が起こした一揆

「土」は農民をさし、農民が起こした一揆を「土一揆」という。

一四二八年、近江国（滋賀県）に始まった一揆は、たちまち京都をはじめ各地に広がって、人々は土倉＊や酒屋、寺社などをおそった。

●勢いをました土一揆

土倉や酒屋がねらわれたのは、農民が高い利子で土倉などから金を借りて返さなければならず、生活がさらに苦しくなったからである。

この後、一揆は全国的に広まり、幕府に徳政令（借金を帳消しにする命令）をせまるほどになった。



▲ザビエル画像
博物館

# Q フランシスコ＝ザビエルが、日本に来たわけは？

## A

●日本人青年との出会い

一五四一年、イエズス会（キリスト教の一派）の宣教師としてインドへわたったザビエルは、各地で布教に努めた後、マラッカ（マレーシア）へ帰った。そのとき、日本人青年〝アンジロー〟と出会った。

●アンジローの案内で布教のため日本へ

アンジローは薩摩国（鹿児島県）の武士だったが、殺人の罪でマラッカへにげてきていたのだった。

ザビエルはアンジローの話を聞き、日本にキリスト教を広めることが自分の務めだと決心し、一五四九年に鹿児島へやってきた。

# Q キリシタン大名って、何のことかな？



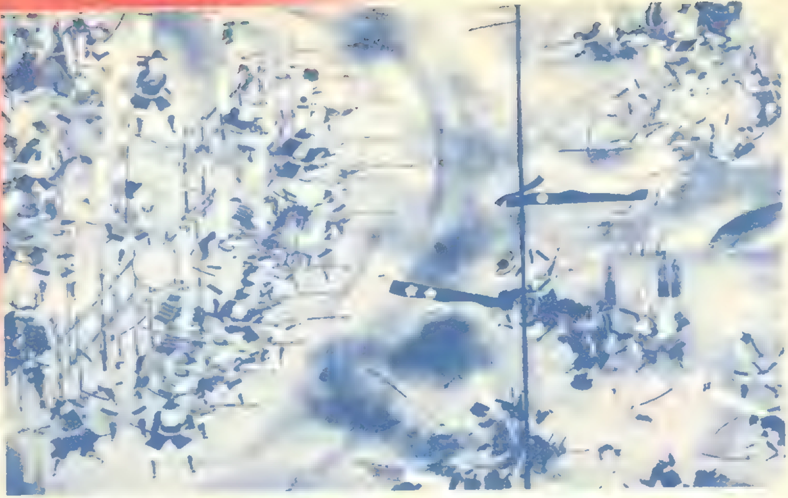

## A

**●急速に広まるキリスト教**

キリスト教の宣教師たちは、病院を建てたり、食物やお金をあたえるなどしたので、キリスト教は生活に苦しむ農民たちの間に、急速に広まっていった。

**■キリスト教徒の大名**

[illegible]ほか、大村純忠、有馬晴信、小西行長などの大名が洗礼を受け、「キリシタン大名」と呼ばれていた。かれらの多くは、宣教師を通してポルトガル船から、鉄砲や火薬などを手に入れるのが目的だった。



▲長篠の戦い　信長は大量の鉄砲をたくみに使い、鉄砲の威力を示した

# Q 信長が鉄砲を手に入れられたわけは？

# A

**●二つの生産地を支配下に**

鉄砲が日本に伝えられたのは、一五四三年だが、その後、わずかな間に各地に広まっていった。

なかでも最大の生産地は大阪の堺だった。近江国（滋賀県）の国友村でもつくられていた。

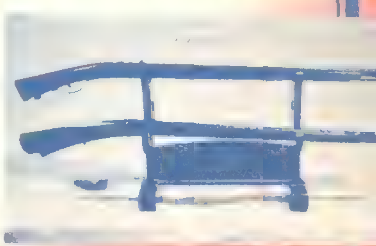
織田信長は、この二つの生産地を自分の支配下に置いていたため、ここでつくられる鉄砲を一手におさえて、有力な武器として使うことができたのだ。

**●長篠の戦いで威力を見せた鉄砲**

信長は武田勝頼との長篠の戦いで、三千人の鉄砲隊を三組みに分けてかわるがわるうたせ、武田軍の騎馬隊を[illegible]



武田軍も鉄砲を知らなかったわけではなく、勝頼の父信玄は、川中島の戦いに三百丁の鉄砲をそろえていた。しかし、戦術家の信玄は、鉄砲にたよらなくても戦に勝てたため、重要視しなかった。



▲種子島（当時の鉄砲）

## Q

## 信長が築いた安土城は、それまでの城とどのようにちがうのかな？

## A

**●初めての天守閣を造った**

織田信長が建てた安土城の特ちょうは、何と言っても、五層七重の天守閣であったといわれる。

城に天守閣がつくられたのは、安土城以前にもあった。しかし、それは城主の住宅の上に、二重か三重の




信長は安土に家来や商人、職人を集め、新しい町を造ろうとした。



▲安土城のあと

物見やぐらを組み上げたような、簡単なものだった。外から見ると五層、内部は七重になっている大天守閣は、もちろん安土城が初めてだった。

## ●金色にかがやく天守閣

石垣の高さ約二十二メートル、その上の建物が約三十二メートル。内部にはたくさんの座敷があり、柱は黒や朱のうるし塗り、ふすまには金ぱくを使った絵がえがかれていた。

天守の六重目は八角形で、白壁塗り、いちばん上の七重目は、内も外も金をはるという豪華なもの。

朝日や夕日を浴びる安土城は、金色のはなやかな光かがやいていたという

# 信長はなぜ、家来の光秀にほろぼされたのかな？

**●信長の性格が自らをほろぼした？**

信長を殺したのは、家来の明智光秀だが、本当は信長自身の性格が、自らをほろぼしたという説がある。

「キンカン頭」と光秀の頭をせんすでたたいたり、豊臣秀吉のことを、顔形から「サル」と平気で呼ぶなどの信長の性格に、光秀はがまんかできなかったというもので、信長の性格が災いしたという。



▲明智光秀像



▲豊臣秀吉像



# AQ

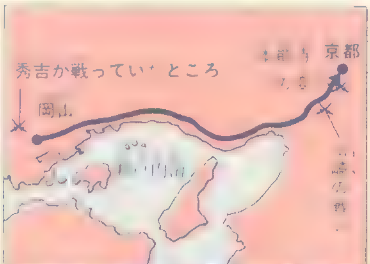
## 明智光秀の三日天下って本当？

### ●十一日間の明智政権

一五八二年六月二日、明智光秀は主君の信長をほろぼした＝本能寺の変。

このとき秀吉は、中国地方で毛利軍と戦っていた。信長の死を聞くとすぐに和議を結んで、京都に引き返した。そして六月十三日、山崎の戦いで、光秀を破った。光秀の政権はこの間のわずか十一日間で、世に「三日天下」といわれている。

秀吉軍の岡山からの進軍は、一日百キロというスピードで、光秀は軍勢を整えることができなかった。






## Q 「日本人町」と呼ばれる町が、海外にあったそうですが、どんな町かな？



▲ベトナム中部にあった日本人町に着いた朱印船。

## A

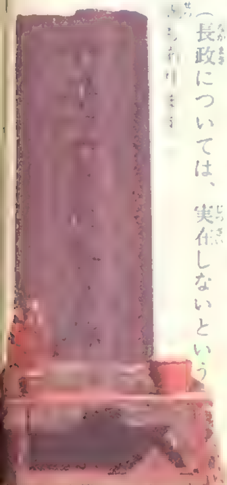
### ●外国にできた日本人の町

秀吉が航海の許可をあたえた朱印船は、ベトナム、カンボジア、タイなどへ行き、なかにはそこへ住みついて日本人たちで日本人町をつくった人々もいた。

### ●タイで活やくした？ 山田長政

なかでもタイの日本人町には、三千人もの日本人が自治的な生活をしていた。山田長政は、その中にあって、当時のシャム国王を助けるなどの活やくをしたと伝えられている（長政については、実在しないという説もあります。）

▼タイにある日本人町跡の記念碑



# Q 関ヶ原の戦いは、どのくらい続いたのかな？

# A

**●一日でけりがついた合戦**

一六〇〇年、東軍（徳川家康）・西軍（石田三成）か、関ヶ原（岐阜県）で「天下分け目の戦い」の幕を開けた。

午前八時に合戦は始まり、正午すぎ、西軍の小早川秀秋が東軍にね返ったのをきっかけに、午後二時ごろから西軍の旗色が悪くなった。そして午後四時には東軍の大勝利で幕をとじる。

その間、わずか一日たらずだった。





▲関ヶ原の合戦をえがいた「関ヶ原合戦図屏風」（部分）　関ヶ原町歴史民俗資料館

# Q 大阪冬の陣が始まったきっかけは？

# A ●＊鐘銘に文句をつける

家康は、豊臣氏がつくった方広寺の鐘銘に「国家安康」とあるのを、家康の名を切ってのろうものだと難くせをつけ、これがきっかけとなって大阪冬の陣が始まった。

家康は、政権をにぎった後でも豊臣氏の財力をおそれ、何とかして豊臣氏をほろぼそうと機会をねらっていたのだ

＊鐘銘…鐘にきざみこまれた文章


▲豊臣秀頼像



▲方広寺の鐘に残る「国家安康」の文字


▲大阪城のまわりではげしい戦いをくり返す豊臣軍と徳川軍

## Q 敵に「日本一のつわもの」と呼ばれた武将は？

## A ●主君への忠節を破らず・真田幸村

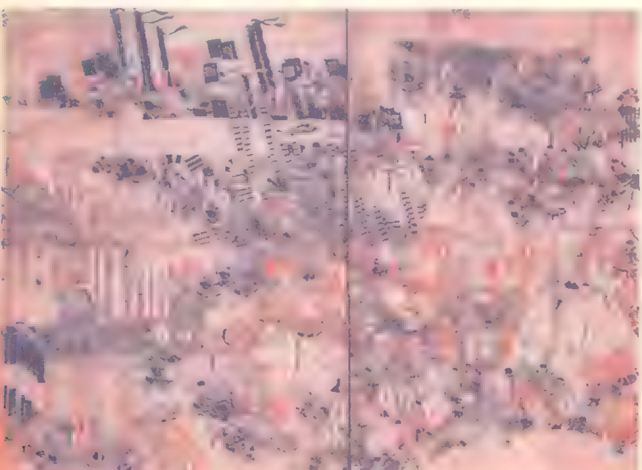
一六一四年十月に始まった大阪冬の陣で見せた真田幸村の戦いぶりはみごとなものだった。感動した家康は、徳川の家来になれば国をあたえようと幸村をさそった。

これに対し、幸村は、「秀頼公への忠節を破るわけにはいかない。勝ち目はないが、討ち死にする覚悟だ」と答えた。

これを聞いた家康は、「日本一の武将」とほめたという。



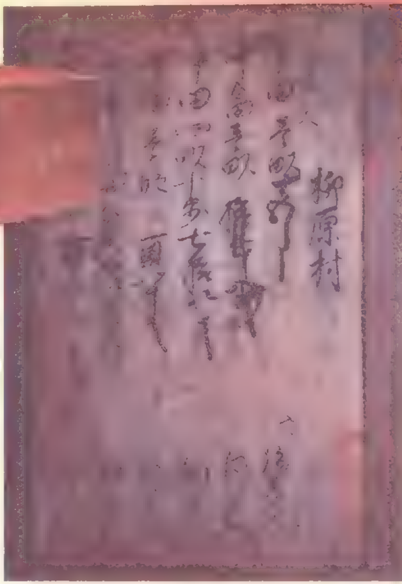
◀真田幸村画像



▲大阪夏の陣　のとき幸村は戦死した

東京国立博物館


▲年貢の米の量をはかった京ます。（法隆寺）


▶耕地面積などをしるした検地帳。（東京大学史料編纂所）

# Q 戦国時代の農民は、どんなくらしをしていたのかな？

## A

**●一反、二反の耕地を耕す小農民**

戦国時代の農民は、一世帯が一[illegible]家は、年貢をおさめ、領主に決められた労働奉仕をしてくらしているのがふつうだった。（一反は10アール）

しかし、実際は、わずか一反、二反の耕地しか持たない小農民がおおく、地主から土地を借りて耕作するものが少なくなかった。

**●苦しかった生活**

米は特別なときにしか食べられず、ふだんは雑穀を食べた。年貢やその他の労力負担も多く、生きていくのがやっという生活だった。


◀検地

# Q この時代に、歌舞伎のもとをつくった人は？

# A

**●出雲大社の巫子の「阿国おどり」**

戦国時代の末、出雲大社（島根県）の巫女、阿国が、都でおどりを始めた。これが歌舞伎のもとといわれる。



◀現代の歌舞伎　男性だけが演じる

はじめはおどりだけだったが、のちに一座は男のなりをしてしばいを始め、人びとの人気を集めた。

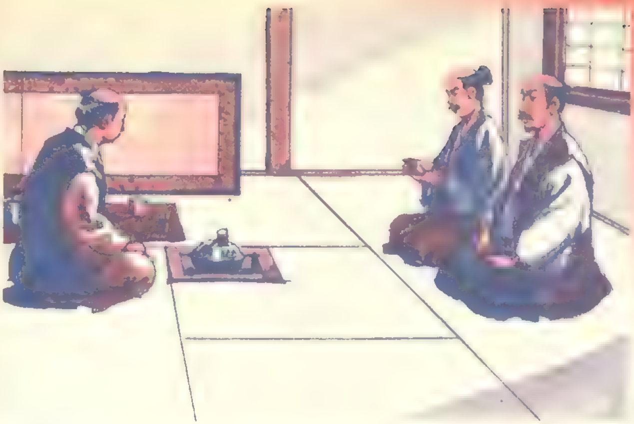
**●栄える民俗芸能**

このほか、「ほんおどり」「念仏おどり」、浄瑠璃なども、各地に生まれていった。



▲たいこや神楽歌などを歌いながらおどる阿国歌舞伎

# Q 茶の湯が流行したのは、いつの時代なのかな？





◀棗(茶入れ)



◀茶わん

●このころ使われた茶の道具●

# A

## ●安土・桃山時代

室町時代に始まった茶の湯は、安土・桃山時代になると、町人だけでなく諸大名にも愛されるようになり、たいへんさかんになった

## ●わび茶の完成

千利休は、茶の湯に禅の精神をとり入れたわび茶を完成し、茶道を奥深いものにした

利休は、大名たちを弟子にし、秀吉の政治の相談役もしていたが、のちに秀吉のいかりにふれ、切腹を命じられた

# Q この時代に、豪放な絵画が流行したのは、なぜかな？

# A

**●武将の権力と富を反映**

戦国時代の武将は、権力と富をもとに城を築いたり、寺を建て直したりしたので、ふすまやかべ、びょうぶなどに、はなやかな絵をかくことがはやった。これらを障壁画といい、狩野派の人々が活やくをした。

**●時代によって変わる好み**

安土城や大阪城などにうでをふるった狩野永徳、その弟子の狩野山楽が代表的な画家だ。

桃山時代前期には、永徳のはげしい筆づかいの絵が好まれ、後期には、やわらかな華やかさを持つ山楽の絵が好まれた。





▶狩野永徳がえがいた「唐獅子図屏風」力強さが伝わってくる
▲長谷川等伯がえがいた「松林図屏風」等伯もこの時代の画家だ

# 戦国の世と天下の統一　年表とまとめ

| 世紀 | 西暦 | おもなできごと |
| --- | --- | --- |
| 室町時代 | | |
| 14世紀 | 一三三八 | ●足利尊氏が京都に幕府を開く。 |
| | 一三九二 | ●南北朝が統一される。 |
| | 一三九七 | ●金閣がつくられる。 |
| 15世紀 | 一四〇四 | ●足利義満が日明貿易を始める。（このころ、能の理論を世阿弥がまとめた『花伝書』ができる。） |
| | 一四六七 | ●応仁の乱が起こる（このころから土一揆がさかんになる。） |
| | 一四八二 | ●銀閣がつくられる。 |

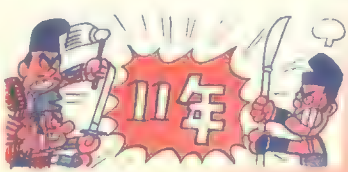
## 【(一)戦国時代の始まりと天下統一】

### ①応仁の乱（戦国時代の始まり）

室町幕府の将軍のおひざ元である京都で、有力な家臣が東西に分かれて十一年間も争った戦い。この戦いをしずめられなかったことで、室町幕府の権威は地に落ち、戦国時代の幕開けとなった。

### ②関ケ原の戦い（天下統一）

天下の諸大名が、東西に分かれて戦った。豊臣家を守ろうとする石田三成（西軍）は、徳川家康（東軍）と戦い、敗れた。家康は、この戦いの勝利で天下人となり、江戸幕府を開いた



| 安土・桃山時代 | | | | 戦国 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 16世紀 | | | | | |
| 一五八二 | 一五七五 | 一五七三 | 一五六〇 | 一五四九 | 一五四三 |
| ●本能寺の変で信長がほろぼされる<br>●豊臣秀吉が太閤検地を始める。(〜九八年) | ●信長と徳川家康の軍勢が長篠の戦いで武田勝頼を破る | ●信長が将軍足利義昭を追放し、室町幕府がほろびる | ●織田信長が桶狭間の戦いで今川義元を破る | ●ザビエルがキリスト教を伝える | ●ポルトガル人が種子島へ鉄砲を伝える。 |

## 【二 鉄砲の伝来】

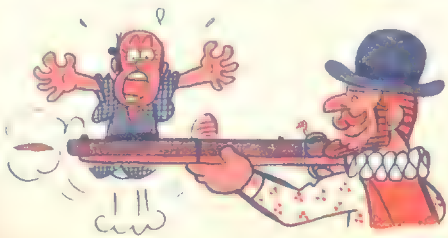
### (1) 鉄砲とキリスト教の伝来

一五四三年、ポルトガル船が種子島に漂着し、日本に初めて鉄砲(火縄銃)を伝えた。六年後、スペインのザビエルが来日してキリスト教を伝え、九州地方を中心に広まった。



### (2) 長篠の戦い

織田信長が三列の鉄砲隊を組織し、武田勝頼の軍勢を破った戦い。この戦いを機にして、個人戦から集団戦へと戦い方が変わっ



| 時代 | 安土・桃山時代 | | | | | 江戸時代 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 世紀 | 16世紀 | | | | 17世紀 | |
| 西暦 | 一五八三 | 一五八八 | 一五九〇 | 一五九二 | 一六〇〇 | 一六〇三 |
| おもなできごと | ●秀吉が大阪城を築く | ●秀吉が刀狩を行う | ●秀吉が北条氏をほろぼし、全国を統一する | ●秀吉が朝鮮に出兵する | ●関ヶ原の戦いで、家康が西軍をほろぼす | ●家康が江戸幕府を開く |

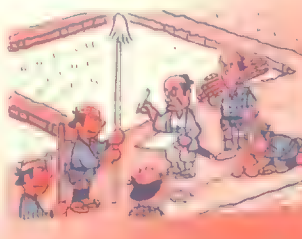
## 【(三)豊臣秀吉の政策】

### ①太閤検地

正確に年貢をとりたてるため、全国の田畑の広さを測り、耕地のとれ高や耕作人を調べた。

### 2 大阪城の築城

秀吉は、周囲約四キロメートルの敷地の中に、諸大名に命じて大阪城を築城させた。この築城で、秀吉こそ天下人であることを示した。



### ③刀狩

秀吉は、百姓一揆を防ぐために、農民から武器をとり上げ、武士と農民の身分を区別した。



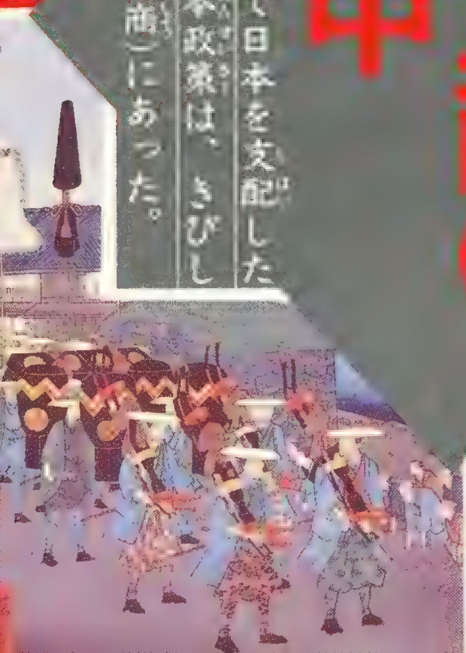



◀江戸時代の日本の中心地・江戸（東京）。日本橋は、江戸から全国各地に通じる街道の出発点だった。

# 第二部 士農工商の世の中

強力な政治の力で日本を支配した江戸幕府。その基本政策は、きびしい身分制度（士農工商）にあった。

江戸に上ってくる大名行列▼





▲大福帳

商人は金の出し入れを、このノートに記録していた。

# 徳川家光を読む前に

一六〇三年、徳川家康によって江戸幕府が開かれた。翌年生まれた家光は、ひ弱だがやさしい子どもであった。将軍となった家光は、どんなことを考え、どんなことをしたのかを、見てみよう。




そうとばかりはいえないよ。
参勤交代の行列が来たよ。
いやなことでもあるの？
行列が通り過ぎるまで、道ばたで頭を下げてなきゃいけないの。
行列が長くてねむっちゃったよ。
どうしてやっかいな参勤交代なんか始めたの？
それはそのつまり…。
宿屋へ着いてから次のページを読むんでしょ。
そういうこと。

人物まんが

# キリシタン追放と鎖国

# 徳川家光

絵・田中正雄

二代将軍秀忠の二男として生まれた家光は、生まれて間もない江戸幕府の基礎を、しっかりとかためる役割を果たした。ゆるぎない幕府の組織を整えて、長男家綱に将軍の位をゆずった。



（117）士農工商の世の中



# 一 竹千代、将軍の後継ぎとなる




国松は元気だがわがままだった。
はいしいっ。
竹千代はひ弱だがやさしい子だった。
父の秀忠は一六〇五年に二代将軍となっていたが、政治の実権は、大御所となった家康がにぎっていた。
家康
大名
大御所
秀忠
おごうの方
二代将軍
国松
後の忠長
竹千代
後の家光
(病死)
乳母の福は、竹千代のやさしさを大切に思っていた。
強さは心がけしだいで身につけられますが、やさしさはお生まれつきによるものです。
この福は後に天皇から従二位の位と春日局の名をもらっている。




*駿府城…静岡県静岡市にあった城。




ここは将軍の世継ぎの座る席。
兄弟といっても、竹千代が将軍となれば国松は家来となる身じゃ。
おごうどの、おわかりであろうな。
はっ、は……はいっ。
竹千代はあっぱれな生まれつきじゃ。成長の後には立派な名将軍となるであろう。
この家康の一言で、世継ぎは竹千代と決まった。


秀忠は大御所の言葉に従って、竹千代のためによりぬきの、三人の立派な武士を呼び出した。
かしこまりました。
竹千代が立派な将軍になれるよう守役を務めよ。
はっ。
それから後、智に勇を備えた立派な守役によって、竹千代の教育が始まった。
酒井忠世
三代将軍になられるお方としてのお知えを身につけてもらいます。
土井利勝
勇気あるお方にお育ていたします。
青山忠俊
そんなに…
国を治める将軍には仁徳こそ必要と存じます。
では始めましょう。
これはほんの取りかかり。
そんなに勉強するの？


次は体育の時間でございます。
では交代いたそう。
たのみましたぞ。
はっ。
あっ。
いなくなってる。
竹千代さまー。
若君どちらにおいでですかー。
お前たちは自由でいいなあ


こうなってはいたしかたない。
忠俊め何をする気だろう?
若君ににげられたとあっては守役は務まりません。
若君！おさらばです！
忠俊待てっ。
もうかくれはせんからやめろ。
竹千代は立派な家来たちに見守られながら、すくすくと成長していった。


一六一四年の大阪冬の陣と、翌一六一五年の夏の陣の二度の戦いで家康は豊臣氏をほろぼした。
もはや豊臣氏も最後だ。
大阪城を攻めおとせ。
わー
わー
続いて家康は次々と法律を定めた。
武家諸法度
武士は武芸にはげめ
勝手に結婚してはいかん
むほん人をかくまってはいかん。
勝手に城を築いたり、修理してはいかん
禁中並公家諸法度
学問第一にはげむよう。(政治から遠ざける)
諸宗諸本山諸法度
僧は武器を持つな
修行をしてればよろしい
これで江戸幕府の基礎はできた。
この基礎をがっちり固めるのは竹千代の仕事だ。
その翌年家康はなくなった。

# 二 〃生まれながら〃の将軍


一六二三年（元和九年）
家光は将軍となり、
秀忠は大御所となった。
将軍家光
将軍職はゆずったが、わしは父上と同じように政治の実権ははなさんぞ。
大御所
秀忠


秀忠はその後、十年間大御所として政治を取り続けた。
家光はその間、幼いころからそばに仕える優秀な側近と共に、今後やるべき政策を練っていた。
まず外様大名をおさえねばなりません。
農業政策やキリシタン対策も重要です。



一六三二年（寛永九年）大御所の秀忠が亡くなり、家光の政治が始まった。手始めとして、全国の外様大名を江戸城の大広間へ呼び集めた。
祖父の家康公はおまえたちの力を借りて将軍となった。父の秀忠はむかし、おまえたちといっしょに祖父に仕えた。わたしはちがう。生まれながらの将軍である。
だから遠りょはせんぞ。もし、不平のある者には三年のひまをやるから、国元へ帰って合戦の支度をするがよい。
しーん
ヒエッ、これは厳しいぞ。


熊本五十二万石の加藤忠広どのが、天下をくつがえす計画の疑いで、簡単にお取りつぶしになったそうな。
しかし、わがままで大御所秀忠様のおいかりを受け地方に追われていた弟の忠長様は許されるのだろう。
ところがどっこい、五十五万石の領地は取り上げた上、上州の高崎へお預けとなるそうな。
ひえっ、われわれ小大名は十分気をつけねば…。
兄弟でさえ容しゃのない厳しさだ。
厳しいっ。
いよいよこの家光の時代が来たのだ。
長い間考えていた幕府の基礎固めの政策をどんどん実行していくぞ。

# 三 家光、京都に上る




*上洛…京都に上ること。


家光上洛のニュースを聞いた京の町では
三十万人の軍勢を引き連れて来るそうやよ。
ええっ、三十万だすか。
豊臣秀吉の朝鮮出兵のときの軍勢でも二十万やったそうでっせ。
こんなに多くの軍勢をそろえられる将軍は、今までいやらへんかった。
それが本当ならきっとおそろしい将軍やわ。
おとろしおますな。
行列の先頭が通ってから
九日目にやっと将軍様のおかごだ。
この後どこまで続くのか
こらっ
おりろ。
なんと総勢三十万七千人という歴史上最大の行列だった。

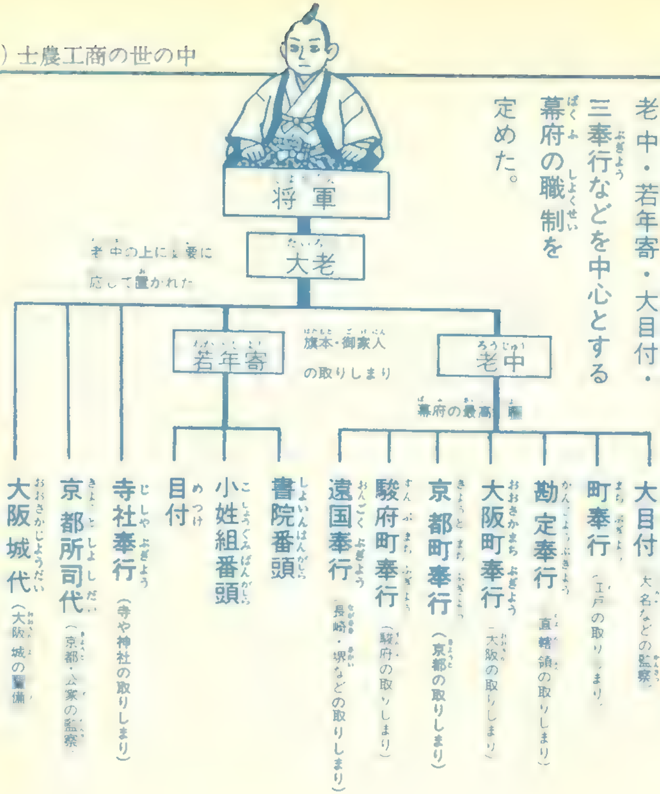

さて、朝廷では
家光を太政大臣にしよう。
後水尾上皇
家光
ありがたいお言葉ですが、そのような高い位をいただいてはおそれ多い。
家光のけんきょさに上皇様はご満足。
上皇様もごきげんでなにより。
われわれ公家もみやげをもらってごきげんでおじゃるよ。
その上、京の町人たちにもみやげに銀をあたえるそうな。
さすが生まれながらの将軍
今までの将軍とはひと味ちごうておじゃる。
一戸あたり銀三十匁将軍様からのおみやげだ。
ありがたいことで。
将軍が乗りこんで来て税金を取られたことはあっても
もらったのは初めて。
家光様を見直しましたよ。

# 四 島原の乱が起こる


幕府のゆるぎない基礎を作る政策のうち、朝廷に対する対策はすんだ。
次は幕府の機構を整えることと、外様大名の力をおさえるための対策だ。


家光は六人衆を集め、幕府の仕組みの作成に取りかかった。
将軍の権力を支えるのにふさわしい仕組みを作らねばならん。
ああでもない。
こうでもない。

一六三五年に老中・若年寄・大目付・三奉行などを中心とする幕府の職制を定めた。

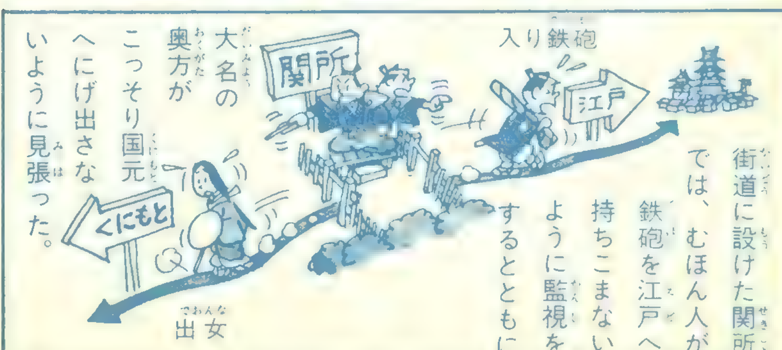


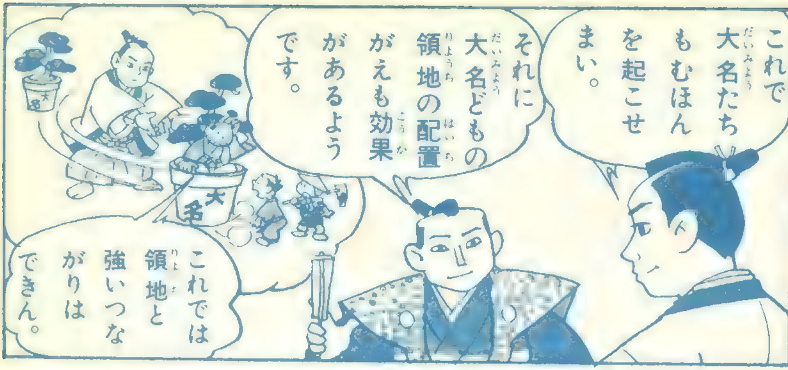

幕府の役職につけるのは、*譜代大名と旗本、御家人に限ると定め、*外様大名は除外された。

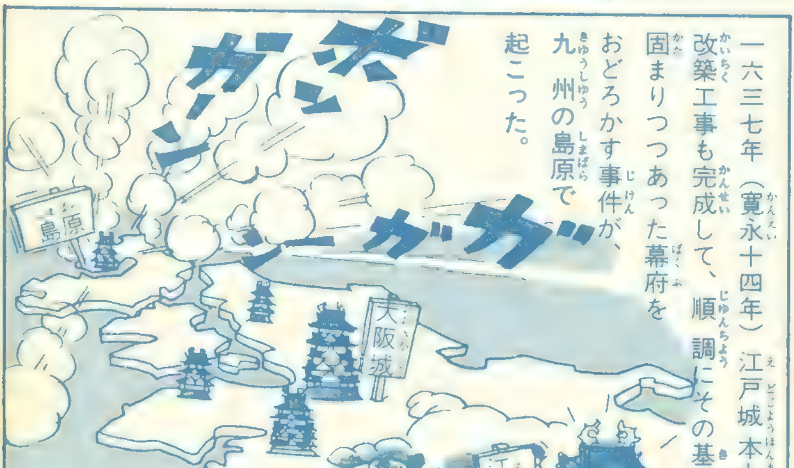



*譜代・外様…関ヶ原の戦いの前から仕えたものは譜代　それ以降のものは外様

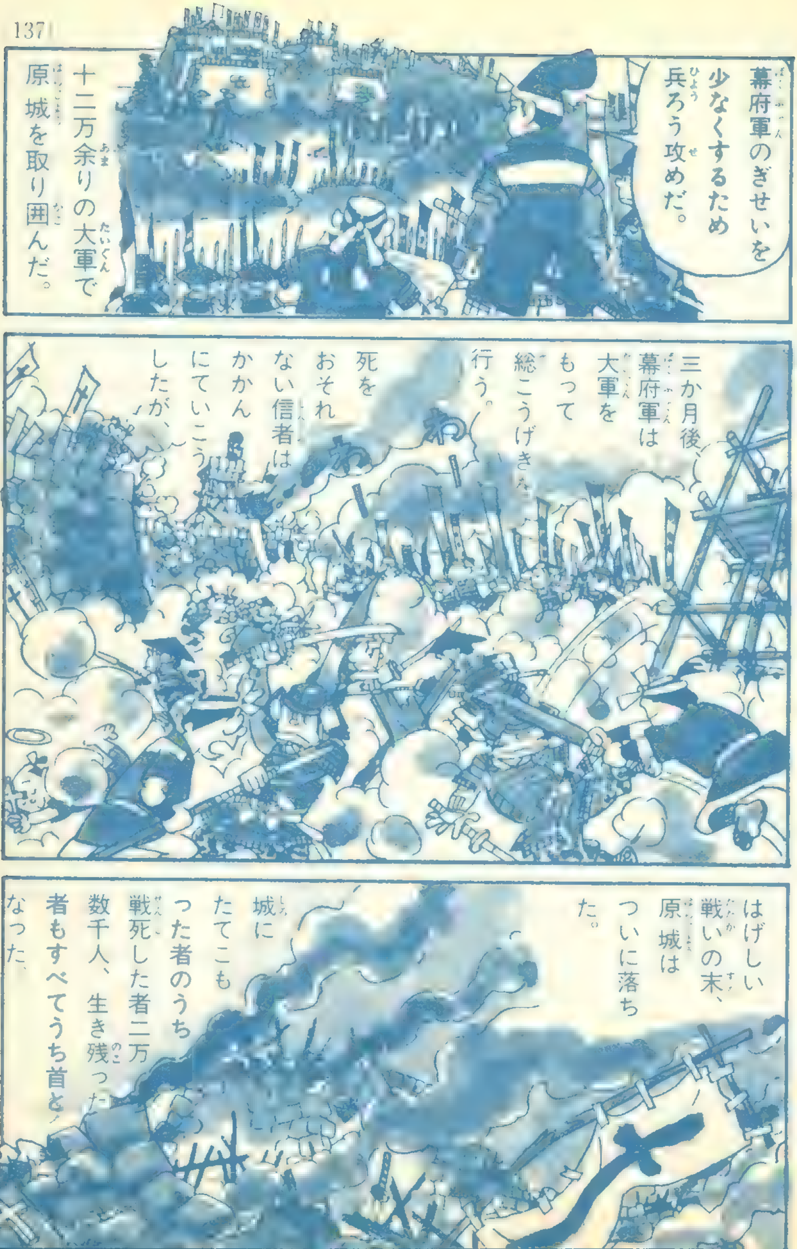

同じ年に参勤交代の制度を整えた
奥州街道
江戸
日光街道
江戸湾
甲州街道
箱根
相模湾
大名は江戸にも屋しきを作り、一年は江戸に、次の年は領地にと、行ったり来たりすることになった。
駿河湾
これでは、軍用金もたまらない。
遠州灘
妻子は江戸屋しきに残しておかにゃならんのだ。
中山道
これでは幕府には逆らえん。
東海道
京都
五つの街道は、幕府か直接治めた。


街道に設けた関所では、むほん人が鉄砲を江戸へ持ちこまないように監視をするとともに
入り鉄砲
江戸
関所
大名の奥方がこっそり国元へにげ出さないように見張った。
くにもと
出女


これで大名たちもむほんを起こせまい。
それに大名どもの領地の配置がえも効果があるようです。
これでは領地と強いつながりはできん。
大
大名

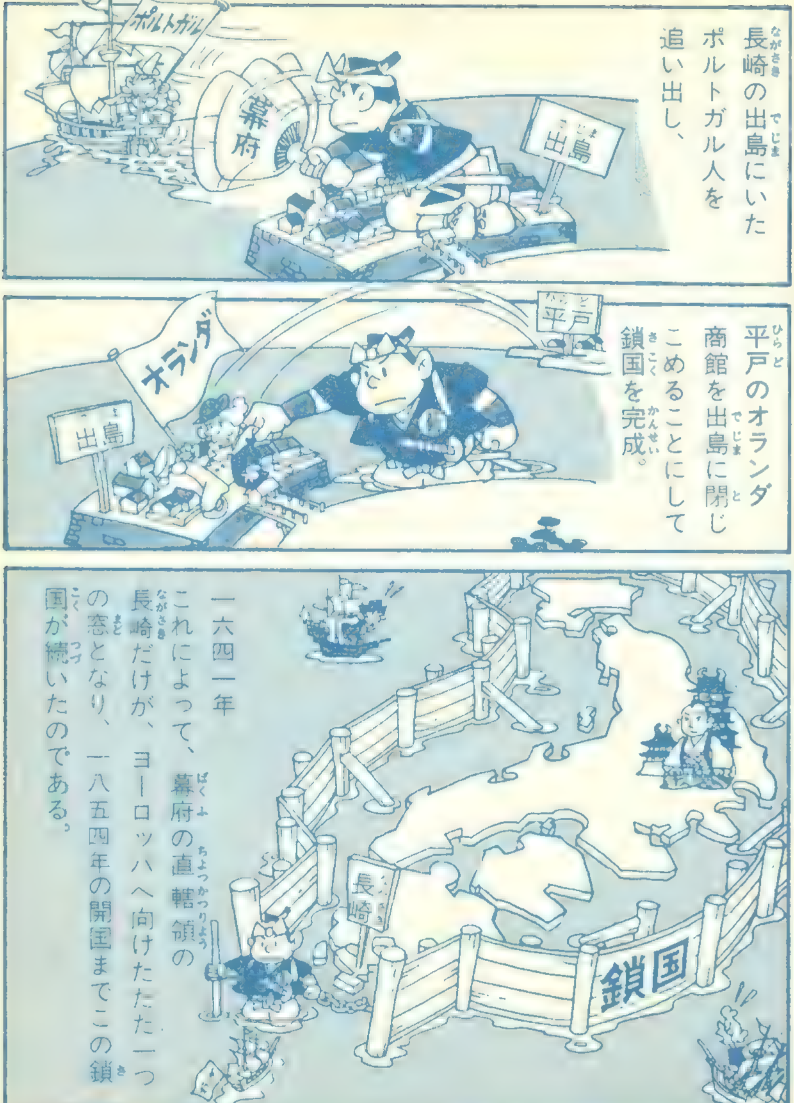

一六三七年（寛永十四年）江戸城本丸の改築工事も完成して、順調にその基礎が固まりつつあった幕府をおどろかす事件が、九州の島原で起こった。
島原
大阪城
江戸城


領主の厳しい税の取り立てと、キリシタンだん圧にたえかねた島原と天草の農民たちは、天草四郎を大将として原城に立てこもった。
十字かの下に団結して立ち上がろう!!
一揆軍の進んだ道
島原城
島原半島
原城
島原湾
天草一揆軍
島原一揆軍
天草諸島
原城を攻めた幕府軍は、はげしい反げきを受けた。
このままでは幕府のいしんを損なう。
松平信綱そちが行って指揮をとれっ。
はっ。


幕府軍のぎせいを少なくするため兵ろう攻めだ。
十二万余りの大軍で原城を取り囲んだ。
三か月後、幕府軍は大軍をもって総こうげきを行う。
わー
わー
死をおそれない信者はかかんにていこうしたが、
はげしい戦いの末、原城はついに落ちた。
城にたてこもった者のうち戦死した者二万数千人、生き残った者もすべてうち首となった、

# 五 ゆるぎない幕府の基礎ができる




長崎の出島にいた
ポルトガル人を
追い出し、
ポルトガル
幕府
出島
平戸のオランダ
商館を出島に閉じ
こめることにして
鎖国を完成。
オランダ
平戸
出島
一六四一年
これによって、幕府の直轄領の
長崎だけが、ヨーロッパへ向けたただ一つ
の窓となり、一八五四年の開国までこの鎖
国が続いたのである。
長崎
鎖国




*風流おどり…仮そう者を中心に、にぎやかに歌いおどる、はやし物のこと。


しかし、家光が最後に出した慶安の御触書では、ただ厳しいだけではなく、良い百姓が育つように心を配っていた。
なまけ者の農民
二俵貸してくれ
五年後、借りた米に利子がついて破産
借りた米と利子
働き者の農民
年貢を納めて二俵残った。
十年後、ゆう福になる
年貢を多く取り立てるために検地のごまかしは許さなかった。
検地を正しくせよ。
良い牛をかえば良い肥やしができるぞ。
なるほど。
年貢さえすましたなら百姓ほど安楽なものはない、精を出して働きなさい。
こうして幕府の経済を支える農民の支配にも力を入れた


病気がちになった家光は、よく祖父家康のゆめを見た
あっ、おじいさま。
家光よ、よくやったぞ。
わしはにんたい力で天下をとった。
そなたは、その天下にゆるぎない基礎をうち立てたのじゃ。
狩野探幽のえがいた家康公の画像が、今も日光(栃木県)の輪王寺に残っているが、それはゆめまくらに立った家康を家光が、かかせたものだと伝えられている。


一六五一年（慶安四年）四月、家光は四十八才でこの世を去った。後を継いで四代将軍となった家綱は、まだ十一才だったが、すでに完成された幕府の組織は幼い将軍をむかえても、ゆるがないものとなっていた。
すぐれた相談相手や家来にめぐまれたわしは幸せであった。
家綱も大御所とわたしの作った幕府の組織に守られて無事に将軍を務めよう。
家綱
こうして徳川幕府は、明治維新までゆるぎなく、約二百六十年の政権を保ち続けた。

# 人物まんが徳川家光のまとめ

**一**

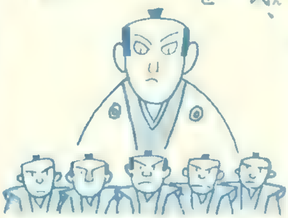
一六〇四年、家光は二代将軍秀忠の二男として生まれた。将軍後継ぎと決まってからは、多くの家来たちから次の将軍としての教育をほどこされた。



**二**

家光は、家康・秀忠と引き継がれた江戸幕府の基礎をかためようとした。天皇と公家、大名、農民、寺社に対する幕府の支配をよりしっかりさせた。

また幕府の職制を整え、それまであった組織を改めていった。



**三**

一六三七年、島原の乱が起きると、武力でこれをしずめた。乱後、キリスト教信者の取りしまりをきびしくして、一六三九年には鎖国を完成させた。



**四**

家光は江戸幕府の基礎と支配力をしっかり固め、四十八才で亡くなった。鎖国によって日本は世界の進歩からとり残されていく一方、安定した時代をむかえていった。



いう説もあります。」

# 〈士農工商の世の中〉のおもな人物像



**【徳川家光】**一六〇四〜一六五一

江戸幕府の三代将軍。家康の孫。参勤交代の制度や慶安の御触書など、大名や農民を取りしまり、鎖国令を出して幕府の支配のしくみを完成した。



**【三浦按針】**一五六四〜一六二〇

オランダ船で漂着し、徳川家康の外交相談役として活やくしたイギリス人。本名をウィリアム＝アダムズといい、三浦半島に領地をあたえられた。



**【山田長政】**？〜一六三〇

江戸前期にシャム（タイ）で活やくしたといわれる人。駿河国（静岡県）の出身で、シャム国王のために戦い、高い位についたが、反対派によって毒殺された。



**【天草四郎】**一六二一〜一六三八

江戸時代初期のキリスト教信者。本名は益田四郎時貞。一六三七年に島原の乱が起きると、十七才で指導者となり、幕府軍を苦しめたが、翌年戦死した。



**【林羅山】**一五八三〜一六五七

朱子学者。徳川家康から四代将軍家綱まで仕え、儒学の発達のもとを築いた。子孫は代々将軍に仕え、朱子学を幕府の学問として思想・教育の根本とした。



**【徳川光圀】**一六二八〜一七〇〇

二代水戸藩（茨城県）主。名君といわれ、とくに学問を好み、多くの学者を集めて、「大日本史」の編さんを始めた。この事業を中心に水戸学がおこった。



【徳川綱吉】一六四六～一七〇九

江戸幕府の五代将軍。湯島に聖堂を建てて、学問をすすめたので文化が発達したが、その反面、生類憐みの令を出したため、「犬公方」と呼ばれ、人々の反感を買った。



【大石良雄】一六五九～一七〇三

赤穂藩（兵庫県）の家老。四十七士の首領。赤穂浪士を率いて江戸（東京）の吉良邸に討ち入り、藩主浅野長矩のあだを討ち、翌年切腹した。



【新井白石】一六五七～一七二五

江戸時代中期の儒学者で、政治家。六代将軍家宣、七代将軍家継に仕えた。儒学にもとづいて文治政治を行い、綱吉時代の悪政を改めた。学者としては『西洋紀聞』などを著した。

---



【河村瑞賢】一六一七～一六九九

東回り、西回り航路の開拓者。材木商を営んでいたが、幕府の命令を受けて沿岸航路を開き、また、淀川の治水などを行い、その功績によって、旗本にとりたてられた。



【友野与右衛門】十七世紀ごろ

箱根用水をつくった人。江戸（東京）の商人で、箱根のふもとの村が水不足で困っているのを見て、トンネルをほって芦ノ湖の水を村々に引いた。



【宮崎安貞】一六二三～一六九七

江戸時代中期の農学者で、『農業全書』を著した。広島県に生まれて、福岡藩に仕えた。後、農業技術の研究のために諸国を回り、その時の体験をまとめて、十巻の書物『農業全書』とした。



【松尾芭蕉（まつおばしょう）】一六四四〜一六九四

江戸時代中期の俳人。武士の出身で、京都（きょうと）で俳諧（はいかい）を学ぶ。自然の美を求めて、さすらいの旅を続け、『奥の細道』など質の高い作品をあらわし、俳句を文学にまで高めた。



【井原西鶴（いはらさいかく）】一六四二〜一六九三

江戸時代中期の浮世草子作者。大阪の町人で、浮世草子と呼ばれる小説（しょうせつ）を書き、世の中の様子を生き生きとえがいた。代表作に『日本永代蔵（にほんえいたいぐら）』などがある。



【近松門左衛門（ちかまつもんざえもん）】一六五三〜一七二四

江戸（えど）時代中期の浄瑠璃（じょうるり）・歌舞（かぶ）伎の作者。武士（ぶし）の出身で、厳（きび）しい身分制度（せいど）の中で、人間らしく生きようとした人々の生活をえがいた。代表作に『曽根崎心中』などがある。



【菱川師宣（ひしかわもろのぶ）】一六一八〜一六九四

江戸時代前期に浮世絵を始めた画家。絵本や本のさし絵に町人の風俗（ふうぞく）の版画（はんが）を用い、最初（さいしょ）の浮世絵版画家（うきよえはんがか）として活やくした。代表作に『見返り美人（みかえりびじん）』などがある。



【尾形光琳（おがたこうりん）】一六五八〜一七一六

江戸時代中期に装飾画を完成（かんせい）した画家。俵屋宗達（たわらやそうたつ）の画風を発展させて、豪華（ごうか）な装飾画（そうしょくが）を完成（かんせい）させた。代表作に『紅白梅図（こうはくばいず）』などがある。



【出雲阿国（いずものおくに）】十六〜十七世紀

阿国歌舞伎を始めた女性。出雲大社（島根県）の[illegible]の出身といわれる。念仏おどりを[illegible]ら諸国をまわり、[illegible]おどりを始めて、人[illegible]集めた。

# 士農工商の世の中Q&A

## Q

「入り鉄砲に出女」をきびしく取りしまったわけは、何かな？

## A

●要人の暗殺を防ぐ鉄砲のチェック

将軍や老中などの要人の暗殺を防ぐため、幕府は箱根や碓氷など、五十か所あまりに関所をつくり、鉄砲が江戸に入ることを警かいした。

●「出女」の取りしまり

大名の妻子は人質同様だったので、国元へにげて、反乱を起こされてはこまるからだ。



▲きびしい取り調べが行われた箱根の関所。（東京大学史料編纂所）



# Q 江戸時代にあった「五人組」とは、何のことかな？

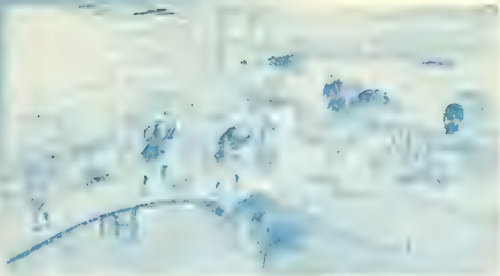
## A

**●五けんが協力、監視をし合う制度**

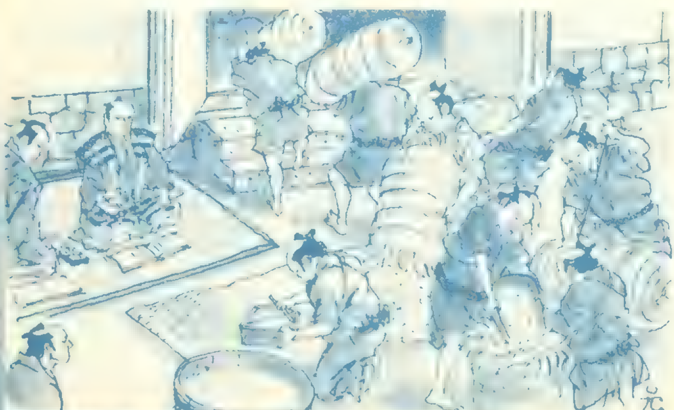
幕府は、農民や町人に五けんを一組みにして、協力や監視をさせ合うしくみをつくった。これが五人組だ。税や年貢は五人組が共同で納め、納めない者がいると、五人組全部をばっするなどした。

**●裕福な者だけが対象**

農村では自分の土地を持っている本百姓が、町人では家主・地主だけが五人組をつくっていた。



▲農作業を助け合う江戸時代の農民。東京大学史料編纂所





▲大名行列の人数…石高によってちがう。4000人から100人以下までいろいろ。費用…薩摩藩（鹿児島県）の場合、片道1600kmに今のお金で3億円くらいかかった。（1800年）

## Q 参勤交代とは、どんなものだったのかな？

## A

### ●お金と時間がかかる参勤交代

参勤交代の制度は、三代将軍家光のとき、大名の義務として「武家諸法度」に整えられたもの。大名が一年ごとに国元と江戸を往復するこの制度は、ばく大な金と時間がかかった。

### ●九州から江戸まで約一か月の旅

九州の鍋島藩（佐賀県）では、十一月に出発して下関海峡を船でわたり、山陽道から大阪へ出た。そこから京都まで淀川を船でぬけて、さらに江戸まで陸路を歩くと、約一か月かかったという。たくさんのともをつれた旅だから、その費用はばく大であった。

# AQ

## 江戸幕府は、なぜ鎖国をしたのかな？

### ●キリスト教禁止と貿易の独占

江戸幕府が鎖国の政策をとるようになったのは、一つには封建制度の考えかたと矛盾する、神のもとではみな平等というキリスト教がひろまるためだが、＊朱印船貿易で利益を上げる諸大名の力が大きくなるのをおそれたためでもあった。

またオランダは、日本との貿易を独占しようとして、幕府に対してキリシタンの危険性を説いたからだともいわれる。いずれにしても、当時の日本の体制を維持・強化するための政策であった



きびしい鎖国政策を進めた、二代将軍秀忠(右)と、三代将軍家光(左)。



▲キリストなどの画像をはめこんだものをふませて、ためらったり、こばんだりした者をとらえた（ふみ絵）

＊朱印状（海外渡航許可）を受けて、貿易に従う船。



▲江戸時代の出島の様子がわかる屏風絵。　長崎市立博物館

# Q 長崎にあった「出島」とは、どんな島なのかな？

## A

**●うめ立てによってできた島**

広さ一・三ヘクタールの、おうぎ形をした出島は、うめ立てられてつくられたものだ。島の中には建物や倉庫などがあり、十五人ほどのオランダ人が生活していた。ここで日本と貿易をしていた。

**●きびしい見張り**

オランダ人出入りのチェックはきびしかった。年に一度、新任の商館長が将軍へあいさつに行くときだけ、外出を許された。

▼出島の中でくらすオランダ人。



# Q 鎖国の中で、なぜオランダだけが例外だったのかな？

# A

**●幕府に協力したオランダ**

当時、日本と貿易をしていたのは、オランダ、イギリス、ポルトガル、スペイン、中国などだった。このうち、オランダだけが出島で貿易することを許されたのは、大阪の陣や島原の乱で、江戸幕府に協力的だったからだ。

**●オランダの忠節に特例を認める**

また、オランダ商館長は、自分から申し出て、毎年江戸に出てきた。これは大名の参勤交代と同じで、自分が一定期間、江戸で人質になるというものだ。

この忠節に対し、幕府は特例を認めたのだ。





▼出島で取り引きをするオランダ人と日本人

長崎市立博物館

## Q

江戸幕府は、士・農・工・商に身分を分けた制度をつくったそうですが、それはどうしてかな？



## A

### ●江戸幕府を支えた士農工商の身分制度

江戸幕府は、豊臣秀吉が決めた身分のきまりを、いっそう強め、武士による支配のしくみをかためようとした。

そのため、武士には、みょう字を名のり、刀をさすなどの特権を認める一方、農（農民）・工（職人）・商（商人）の身分に分けて、武士とはっきり差別したのだった。

農民は、武士に次ぐ身分とされ、物をつくる職人は農民の次に、商人は職人よりその下の身分とされた。それぞれの身分のなかでも、さらに上下関係が、細かく分けられた。

## ●士農工商の下にさらに低い身分をおいた

そのうえ、幕府は、農・工・商の下に、さらに低い身分をおいた。この低い身分におかれた人々は、河原など悪い条件の土地に住まわせられた。山野や用水の利用もほとんど許されず、また、職業や服そうも制限され、苦しいくらしをしいられた。

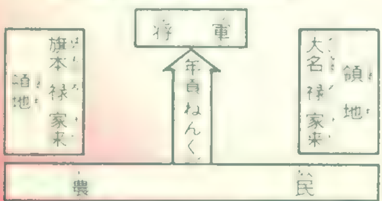
農・工・商の下に、こうしたさらに低い身分をつくったのは、農・工・商の人々に、もっと低い身分があると思わせ、武士への不満をそらそうとしたためであった。

すべての人には、人間らしく自由に生きていく権利がある。人が人を差別するというまちがったことは、許されるべきでない。

大正時代になって、このような差別をなくすための運動がおこってきた。しかし、今もって差別が行われている。みんなの力で一日も早く差別をなくしていかなければならない。

●江戸時代の支配のしくみ

身分制度（士と農工商）

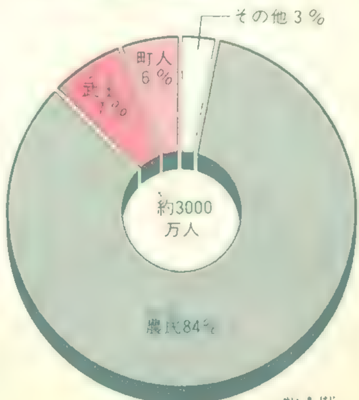



■支配する武士　みょう字・帯刀・領地・禄などの特権

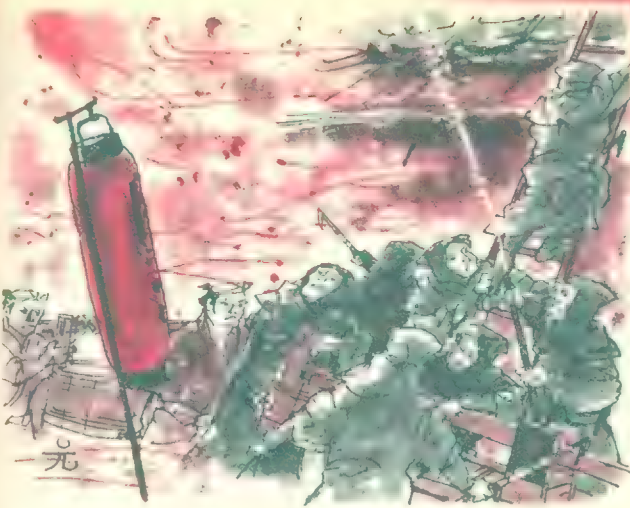
■支配される農工商　農民は、身分は武士の[illegible]生活は苦しい。

工[illegible]町人　身分は低いが農民より生活にゆとり。

●江戸時代の人口構成




（19世紀初め）



# Q 消防の制度のもとをつくった人は、だれかな？

# A

**●火事をおそれた徳川吉宗**

八代将軍吉宗の時代には、江戸の町でもわらぶき屋根の家が多く、火事になると、あっという間に広がった。

そこで吉宗は、土蔵造りにかわらぶきの建築を命じ、火事が広がることを防ぐために、空地を各所につくらせた。

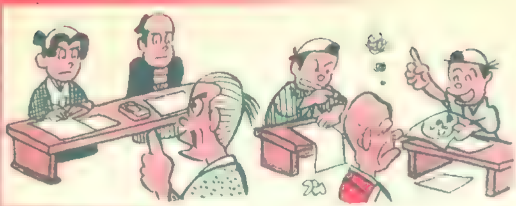
**●町火消の登場**

さらに吉宗は、一七一八年に町火消をつくらせた。これは、のちに「いろは四十八組」にまとめられ、消火に大活やくした。

▼徳川吉宗像



# Q 寺子屋(てらこや)では、どんな勉強をしていたのかな?

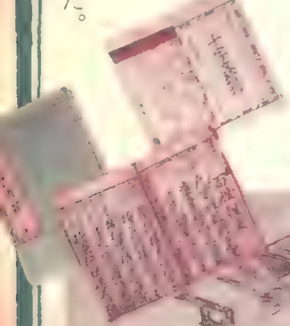


## A

**●実用的(てき)な勉強が第一**

寺子屋(てらこや)は、僧(そう)や浪人(ろうにん)・庄屋(しょうや)などが開いていて、習字、読み、そろばんなどを教えていた。

勉強は実用的(てき)なものが多く、習字では「いろは」から国名、村名、十二支と進み、手紙や記録(きろく)の書き方などを教わった。



◀寺子屋(てらこや)で使われた教科書。(国立教育研究所)

▼寺子屋(てらこや)で学ぶ子どもたちの様子が生き生きとえがかれている。(田原町教育委員会)



# Q 江戸時代の大商人には、どんな人がいたのかな？



▲三井高利の開いた大にぎわいの越後屋呉服店の店内。

三井文庫



◀三井高利の像



▶大阪の目ぬき通りの呉服店

大阪城天守閣

## A

**●新しい大商人の出現**

江戸時代には、商業の発達にともなって、大商人も出現した。両替商の三井高利、鴻池善右衛門、材木商の奈良屋茂左衛門、紀伊国屋文左衛門などがそれである。

**●金銭をたいせつにした商人**

以前の特権商人が、幕府や諸藩と結びついていたのに対し、この時代の問屋商人や両替商は、農村や都市の商人と取り引きし、民衆の生活必需品を売って、実力で大きくなっていった。

また、倹約を第一として資本をたくわえ、それを事業に投資していった。

# 士農工商の世の中　年表とまとめ

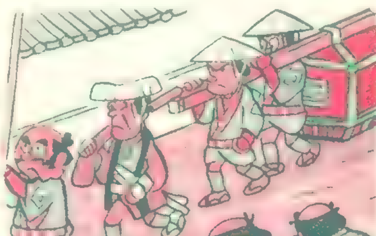
| 時代 | 世紀 | 西暦 | おもなできごと |
|---|---|---|---|
| 江戸時代 | 17世紀 | 一六一四 | ●大阪冬の陣が起こる。 |
| | | 一六一五 | ●大阪夏の陣で大阪城が落城し、豊臣氏がほろびる<br>●武家諸法度ができる<br>（このころからキリシタンが多く処刑され始める。） |
| | | 一六二三 | ●家光、三代将軍になる。 |
| | | 一六三四 | ●長崎に出島がつくられる。 |
| | | 一六三五 | ●鎖国令を強化する。<br>●武家諸法度が改正され、大名に参勤交代が命じられる。 |
| | | 一六三七 | ●島原の乱が起こる。 |

## 【江戸幕府の支配体制】

### ①参勤交代の制度

参勤交代の制度は、三代将軍家光のときに、『武家諸法度』に加えられた。

この制度によって、大名は一年おきに江戸城に参勤し、大名の妻子は人質として江戸に住むことを義務づけられていた。

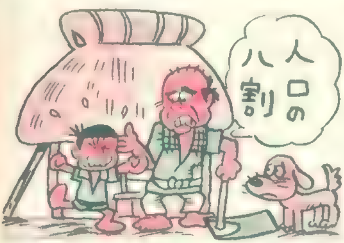


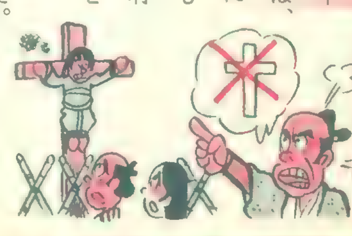
その目的は、大名に反乱を起こさせないようにすることと、大名に大きな出費をさせることによって、大名の力を弱めるためだった。

| 時代 | 江戸時代 |
|---|---|
| 世紀 | 17世紀 |
| 西暦 | おもなできごと |
| 一六三九 | ●ポルトガル船の来航を禁止し、鎖国が完成する。 |
| 一六四一 | ●オランダ商館を出島に移す。 |
| 一六四三 | ●田畑の売買を禁止する。 |
| 一六四九 | ●農民をとりしまる慶安の御触書が出る。 |
| 一六五七 | ●江戸大火（明暦の大火）で江戸城本丸などが焼ける。（このころ各地で寺子屋ができる。） |
| 一六七一、二 | ●河村瑞賢が東回り・西回りの航路を開く。 |
| 一六八七 | ●生類憐みの令が出る。 |

## ②キリスト教禁止と鎖国

「神の下では、人間みな平等」と教えるキリスト教は、身分制度を重んじる幕府にとって受け入れられないものだった。そのため、幕府はキリスト教禁止の命令を出し、それにともなって、外国との行き来も禁止した。



## ③農民の生活

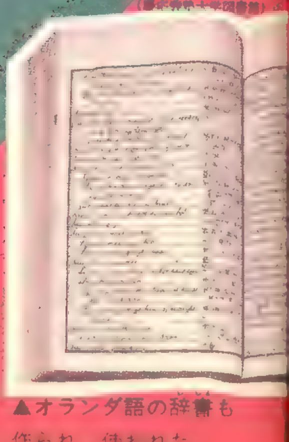
「農は国の本」といわれ、江戸時代の農民の人口は、全体の八割をしめていた。しかし、『慶安の御触書』でもわかるように、農民の生活は厳しく統制され、貧しかった。



◀江戸時代には、全国各地の特産物が、大阪に集まってきた

# 第三部 移り変わる世の中

江戸幕府の鎖国政策で、日本の安定は続くと思われていた。しかし、すでに変化のきざしは生まれていた。



▲オランダ語の辞書も作られ、使われた



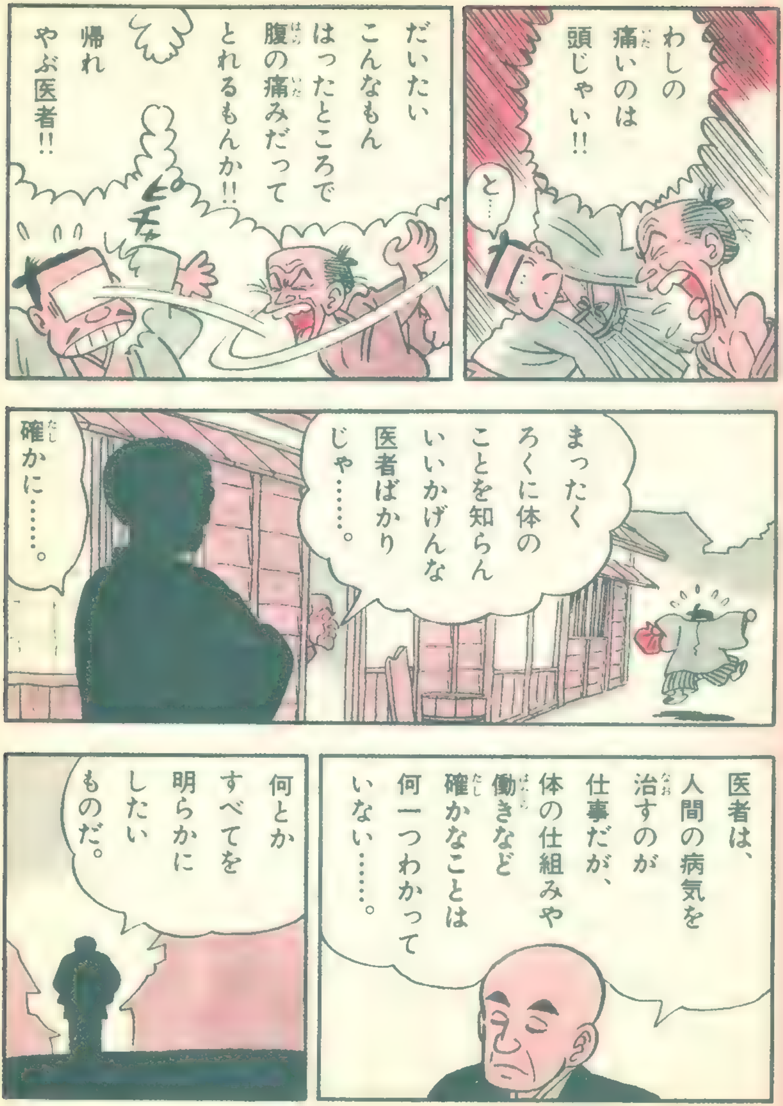

江戸時代の終わりには、天保の大ききんなどがおこり、うえ死にする人も出た▼

人物まんが

# 杉田玄白を読む前に

今からおよそ二百十年前、医者の杉田玄白は一さつのオランダ語で書かれた医学書と出会った。中国の医術を用いた漢方医中心の時代に、玄白は何を行い、どんな影響をあたえたのだろうか？




わしの痛いのは頭じゃい!!
と……
だいたいこんなもんはったところで腹の痛みだってとれるもんか!!
帰れやぶ医者!!
まったくろくに体のことを知らんいいかげんな医者ばかりじゃ……。
確かに……。
医者は、人間の病気を治すのが仕事だが、体の仕組みや働きなど確かなことは何一つわかっていない……。
何とかすべてを明らかにしたいものだ。

人物まんが

# 新しい時代へ

# 杉田玄白

絵・人見倫平

杉田玄白は、手に入れた医学書の解ぼう図を見て目をかがやかせた。これまでに知ったものとは、かなりちがっていたのだ。

「はたして、オランダの本（蘭学の本）は正しいのだろうか？」

(165) 移り変わる世の中



# 一 『ターヘル・アナトミア』との出会い








▲東京都荒川区回向院にある、ふ分けを記念した「観臓記念碑」。解ぼう図の正確さにおどろいたことなどが記されている。











▲「ターヘル・アナトミア」のとびら絵

慶應義塾大学図書館


三代将軍家光は、鎖国とともに西洋の本の輸入を禁止したが、
八代将軍吉宗は、医学、天文学、暦学、地理学、植物学の本は許していた。
実用に役立つ本はよいぞ。
しかし、オランダ人が日本へ来てからかれこれ二百年になるというのに、
オランダの医学書をほん訳しようとした人がいないとは……。
どうでしょう。みんなでこの本をほん訳してみませんか!
私も、そう考えていたところです。
いいですね、やりましょう!!

## 二「小舟で大海へ乗り出す





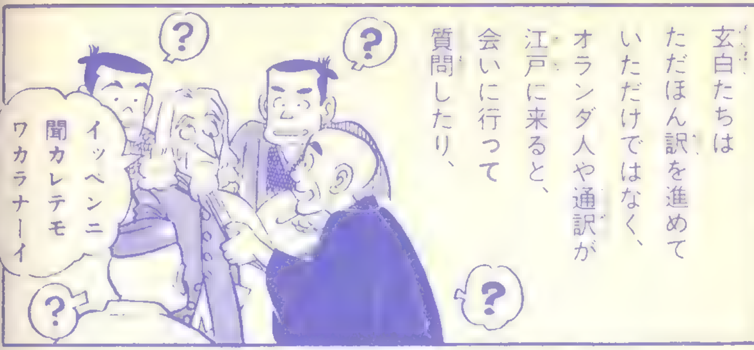

*藩の医者…玄白らは、小浜藩(福井県)、中津藩(大分県)などの医者だった



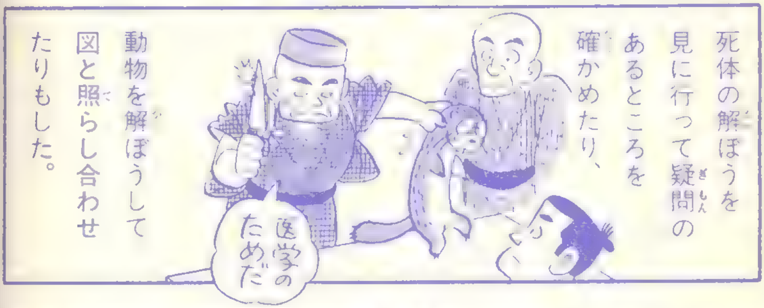

*フルヘッヘンドという単語についてのエピソードは『蘭学事始』によったものです



えだを切ったあとはもり上がる。
ごみを集めればそれももり上がる。
つまり、フルヘッヘンドとは「もり上がる」では。
な、なるほど、まさしくその通り、さすが玄白さん。
やればできますな
これからも知えを出し合ってやりましょう。
それから一年の月日が流れ…
ほん訳を始めたばかりのころは、一日で単語一つわかるかどうかでしたが、次第にわかる単語がふえてきて、一日に十行以上進むときがありますね。



玄白たちはただほん訳を進めていただけではなく、オランダ人や通訳が江戸に来ると、会いに行って質問したり、
イッペンニ聞カレテモワカラナーイ
?
?
?
?

死体の解ぼうを見に行って疑問のあるところを確かめたり、
動物を解ぼうして図と照らし合わせたりもした。
医学のためだ

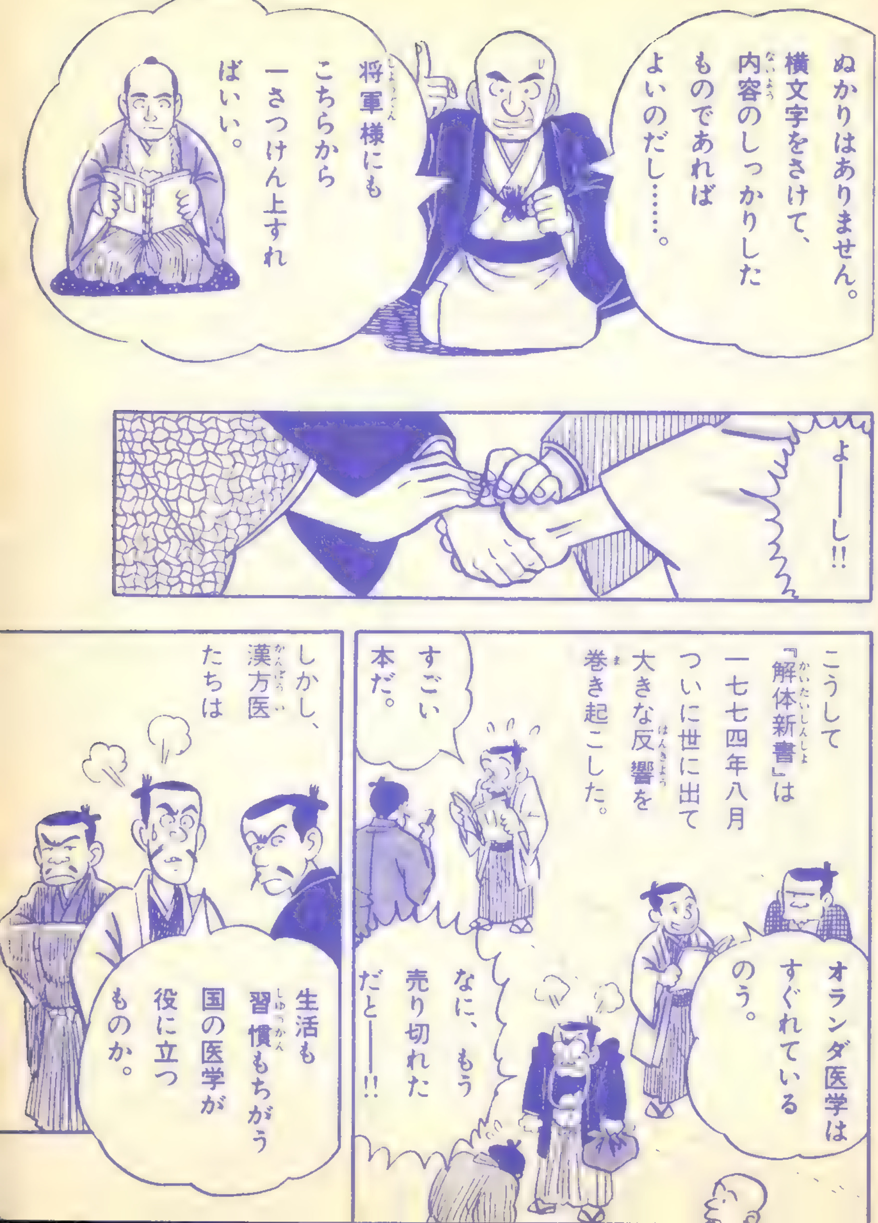



こうして熱心に研究を続けているうちに、玄白たちの集まりに参加する人たちが増えてきて、
やがてこうした人たちの間で「オランダ学」が「蘭学」という新しい言葉で使われるようになった。

## 三 ついに出た『解体新書』


さらに半年ほどたち、ほん訳ができ上がった。
医学のためです。これを出版しましょう。
しかし、オランダの医学書を出すとなると、幕府がうるさいのでは……。
うむ…漢方医たちからの反発もあるかもしれん。
数年前に出版した本の中に、アルファベットが交じっていたというだけで、ばつをくった者もいましたからね。
まず、試しに内容見本のようなものを作って世間の反応を見てみましょう。


おい、すごいぞ。杉田玄白たちが出した『解体約図』……。
ほう、オランダの医学書からとったのか。
続いて『解体新書』なる本が出るそうじゃ。
早く見てみたいのう。
……
みなさん、試しに出した『解体約図』の評判がいいようです。
出しましょう。『解体新書』を!!
やりましょう!!
幕府や漢方医たちの問題は……。


ぬかりはありません。横文字をさけて、内容のしっかりしたものであればよいのだし……。
将軍様にもこちらから一さつけん上すればいい。
よーーし!!
こうして『解体新書』は一七七四年八月ついに世に出て大きな反響を巻き起こした。
すごい本だ。
オランダ医学はすぐれているのう。
なに、もう売り切れただとーー!!
しかし、漢方医たちは
生活も習慣もちがう国の医学が役に立つものか。


今までの医学でも
多くの病気を
治してきたのだ。
まちがっている
はずはない。
杉田玄白は
頭のおかしい
インチキ医者だ。
何を言うか!!
今までの説では
不十分なんだ。
これからは
西洋の学問も
学ばなければ
だめだ!!
こうして
杉田玄白らが
苦心の末に完成した
『解体新書』などの
蘭学の成果は
大きく実り、
新しい時代をむかえる
エネルギーとなって
広まっていった。

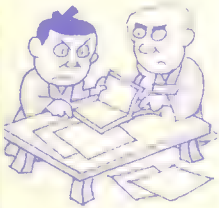
▲「解体新書」の
とびら絵

# 人物まんが 杉田玄白のまとめ

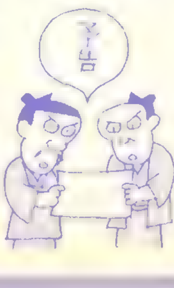
一 オランダ語の医学書「ターヘル・アナトミア」を手にした小浜藩の医者・杉田玄白は、仲間の医者と共に、日本語にほん訳して、新しい知識を紹介しようと決意した。



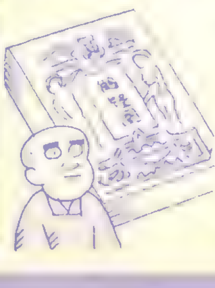
二 オランダ語を知っている前野良沢をたよりに、ほん訳が始められた。ほん訳は予想以上に困難だった。だが玄白たちの意気はさかんで、約三年でほん訳は終わった。



三 すぐには出版せずに「解体約図」というパンフレットをまず作り、「解体新書」発行の予告をした。そして、「解体新書」は、幕府のとがめもなく無事に出版できた。




四 「解体新書」を見た人々は、ヨーロッパの学問をオランダ語を通して学ぶ蘭学のすばらしさにおどろき、医学だけでなく、ほかの技術や学問を学ぶようになっていった。



# 〈移り変わる世の中〉のおもな人物像



**【徳川吉宗】**一六八四〜一七五一

江戸幕府の八代将軍。紀伊藩（和歌山県）主から将軍となって、享保の改革を行う。質素倹約をすすめ、新田を開発するなど政治の立て直しにつとめた。



**【大岡忠相】**一六七七〜一七五一

江戸時代中期の江戸町奉行。徳川吉宗に認められて町奉行に任せられる。米価の調節や町火消の設置などを行い、公平な裁判で名奉行といわれた。



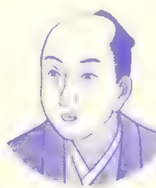
**【青木昆陽】**一六九八〜一七六九

江戸時代中期の儒学者、蘭学者。将軍吉宗に、ききんの対策として甘藷（さつまいも）の栽培をすすめてとり上げられ、甘藷先生といわれた。



**【三井高利】**一六二二〜一六九四

江戸時代前期の大商人。伊勢国（三重県）の出身で、江戸（東京）で越後屋呉服店や両替商を営み、巨大な利益を得て、のちの三井財閥の基礎をつくった。



**【紀伊国屋文左衛門】**十七世紀ころ

江戸時代前期の大商人。紀伊国（和歌山県）の出身で、江戸に出て材木商となり、巨額の利益を得てぜいたくをつくし、「紀文大尽」と呼ばれた。



**【賀茂真淵】**一六九七〜一七六九

江戸時代中期の国学者。荷田春満について国学を学び、『万葉集』を深く研究して、日本の古代精神にかえることをとなえた。国学の四大家の一人。



【本居宣長】一七三〇〜一八〇一

江戸時代中期の国学者、伊勢国(三重県)の出身、賀茂真淵に国学を学び、三十年あまりをかけて『古事記』を研究し、『古事記伝』をあらわして国学の発展のもとを築いた。



【前野良沢】一七二三〜一八〇三

中津藩(大分県)の藩医。長崎で蘭学を学び、杉田玄白らとオランダの解ぼう書をほん訳して『解体新書』を出版し、蘭学発展の基礎を築いた。



【杉田玄白】一七三三〜一八一七

小浜藩(福井県)の藩医の家に生まれ、後に蘭学を学んだ。前野良沢らと『解体新書』を出版し、そのときのほん訳の苦心を『蘭学事始』にあらわしている。



【平賀源内】一七二六?〜一七七九

江戸時代中期の科学者。長崎で医学・物理・生物など、多くの学問を学んだのち、江戸に出た。科学技術にすぐれ、エレキテル(まさつ起電機)や寒暖計などをつくった。



【伊能忠敬】一七四五〜一八一八

江戸時代後期の地理学者。五十すぎから天文・測量などを学び、幕府の命令で全国を測量し、初めて正確な日本地図「大日本沿海輿地全図」をつくった。



【田沼意次】一七一九〜一七八八

江戸時代中期の老中。町人の財力を利用して幕府財政の立て直しをはかったが、成功しなかった。また、わいろで政治を左右したため、反感を買い、老中をやめさせられた。



【松平定信】一七五八～一八二九

江戸時代後期の老中。白河藩（福島県）主で、老中となって寛政の改革を行った。質素倹約をすすめ、朱子学をしようれいしたが、きびしすぎる改革に反感を買い、失敗した。



【喜多川歌麿】一七五三～一八〇六

江戸時代中期の浮世絵画家。美人画の第一人者で、女性の顔や上半身をクローズアップする「大首絵」という技法で、最高水準の作品を多く残した。



【葛飾北斎】一七六〇～一八四九

江戸時代後期の浮世絵画家。とくに風景画にすぐれ、フランスの印象派の画家にも大きな影響をあたえた。質の高い作品が多く、代表作に「富嶽三十六景」などがある。



【シーボルト】一七九六～一八六六

江戸時代後期に来日したドイツの医師。オランダ商館の医者で、長崎に鳴滝塾を開き、多くの人に蘭学を教え、わが国の蘭学の発達につくした。むすめは日本初の女医、楠本いねである。



【渡辺崋山】一七九三～一八四一

江戸時代後期の蘭学者、画家。田原藩（愛知県）の家老だったが、高野長英と共に幕府の政策を批判してとらえられ、自殺した。写生画家としても有名。



【高野長英】一八〇四～一八五〇

江戸時代後期の蘭学者、医者。長崎でシーボルトに蘭学を学んだ。著書の「夢物語」で開国論をとなえ、幕府の方針を批判したため、幕府にとらえられ、のちに自殺した。

# 移り変わる世の中Q&A

## Q

江戸時代のお金には、どんなものがあったのかな？

## A

**●まちまちだった価値**

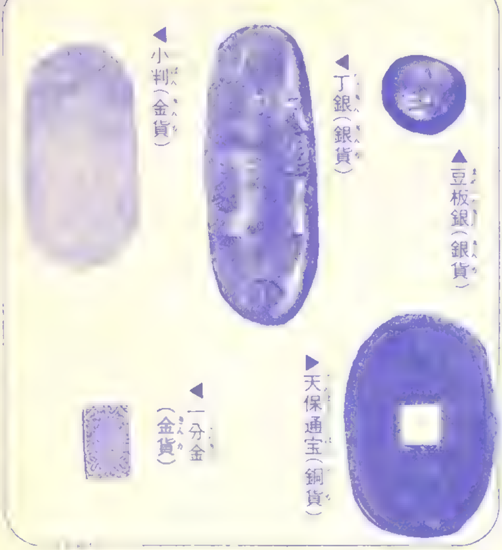
江戸時代以前にも、金貨、銀貨、銅貨はあったが、価値は統一されたものではなかった。

**●家康によって統一される**

家康は、それまでまちまちだった貨幣の価値を統一し、金、銀、銅（銭）の間に共通する公定相場（金一両＝銀五十匁＝銭四貫文）を定めた。

商業のうえでは、銀貨がもっとも多く使われ、日常では銅貨が使われていた。

●江戸時代のおもなお金●



# 江戸時代の三大改革ってどんなものかな？

Q A

●幕府政治のたて直しを図る

江戸幕府の基礎もかたまると、太平の世となり、武士ですら武芸をわすれ、ぜいたくな生活をするようになった。

また一般の人々はききんが続くとうえ死にしたり、食べ物を求めてさまよい歩いた。

江戸幕府は、財政再建などを目的とした、享保の改革や寛政の改革、そして幕府最後の改革・天保の改革を行った。

しかし享保の改革が一時的に効果を上げたほかは、根本的な解決とはならなかった。

(徳川恒孝氏)



▲徳川吉宗



▲松平定信

(東京都立大学図書館)

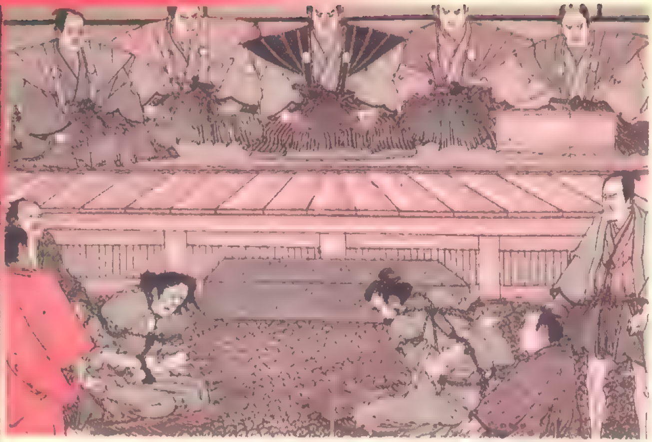


▲水野忠邦

●三大改革の比較

| 天保の改革 | 寛政の改革 | 享保の改革 |
|---|---|---|
| 1841年（天保12年）－1843年（天保14年） | 1787年（天明7年）－1793年（寛政5年） | 1716年（享保1年）－1745年（延享2年） |
| 老中水野忠邦 | 老中松平定信 | 八代将軍徳川吉宗 |
| 財政再建・規律を正す | 享保の改革を理想とした | 経済政策に重点 |
| ■おもな政策<br>●倹約と引きしめ<br>●物価の引き下げ<br>●人返しの法 [illegible]<br>●対外政策の転かん<br>●上知令 [illegible] | ■おもな政策<br>●物価引き下げと旗本・御家人救済<br>●農村の再建と都市対策 [illegible]<br>●学問や思想の統制<br>●海防の強化 | ■おもな政策<br>●財政のたて直し [illegible]<br>●法律や制度の整備 [illegible]<br>●人材登用<br>●実学の奨励（青木昆陽のさつまいも栽培など） |

# Q 与力や同心、目明かしとは、どんな人なのかな？



▲白州で取り調べる奉行。ふつうの事件は与力が取り調べた。

## A

**●むかしの警察官**

町奉行は今の警察署に当たり、そこで働く与力、同心は、警察官に当たる。与力は※旗本級で、同心は与力の下につく。犯人をとらえるのは同心の役で、町奉行所全体で二百人ほど、その役に当たった。

**●町人が同心の手助け**

同心の下には「目明かし」「岡っ引き」と呼ばれる町人がいて、同心からお金をもらい同心などの仕事を助けた。目明かしはふつうは床屋とか、かし屋などの本業を持ち、目明かしは内職だった。



◀与力たちのシンボル、十手。

※旗本…将軍に会える上級の直属の武士。

# Q 江戸時代の人々は、どうやってニュースを知ったのかな？

# A

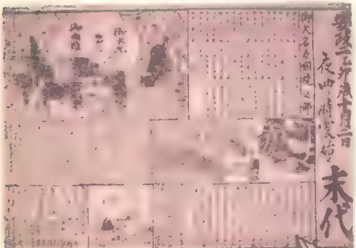
**●かわら版や口コミで**

この時代、新聞というものはなかったが、人々の間では「かわら版」と呼ばれた新聞のようなものがあった。人々は、うわさ話やかわら版で、最新のニュースを知ることができた。

かわら版は、ふつう木版で、半紙一枚刷り。絵が入っていた。

**●しばいになって**

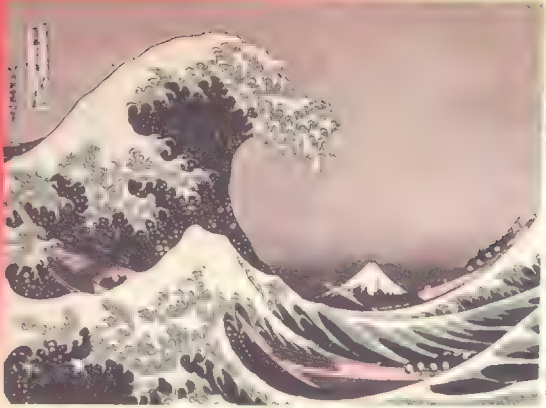
人々のうわさになったニュースは、歌舞伎や浄瑠璃に仕立てられて上演されたものも多かった。



◀かわら版　東京大学史料編纂所



## Q 江戸時代にはやった浮世絵とは、どんなものかな？



▲浮世絵の代表作の一つ、北斎の「富嶽三十六景・神奈川沖浪裏」。

## A

**●多くの人に好まれた版画**

当時の風俗をえがいた浮世絵は、江戸時代に入っておおいに栄え、人々にひろく愛された。

初めは一色の木版刷りだったが、十八世紀半ばに鈴木春信が多色刷りの木版浮世絵を始め、「錦絵」と呼ばれて広まった。

**●西洋の絵画にも影響をあたえる**

その後、美人画で有名な喜多川歌麿、役者絵の東洲斎写楽、風景画の葛飾北斎、安藤広重らが出て、活やくした。

北斎や広重の絵は、西洋にも伝えられ、ヨーロッパの画家たちに大きな影響をあたえた。



## Q

「江戸っ子は宵ごしの銭を持たない」と言われるが、それはどういうことかな?

## A

**●世の中が落ち着いてきた証拠**

「宵ごしの銭は持たない」というのは、町人たちの気風のよさを表すことばだ。その裏には、「明日になればまた仕事があり、銭が入る」ことがうかがわれ、世の中が落ち着いてきたことがわかる。



**●「粋」な町人**

町人たちは、ぜいたくな服そうなどを禁止されたため、羽織の裏地にこったり、初がつおを食べたりすることを「粋」とした。これは、現在にも通じる風俗である。



## Q 本居宣長が『古事記』の研究をして『古事記伝』を著したわけは？

## A

**●日本の古代の心を直接に知りたい**

本居宣長は伊勢国（三重県）松阪の木綿商人の子として生まれた。初めは医者になろうとしたが、和歌や国文学にも心をひかれるようになった。

宣長が『古事記』を研究しようとしたのは、この本には儒教や仏教の影響を受けていない、日本独特の精神が伝えられていると考えたからだ。そこで『古事記』の本文について、くわしい研究をして、日本の古代の心を直接に知ろうとした。

**●後世にも大きな影響をあたえる**

宣長の門人は約四百八十人で、町人、農民が多い。宣長の考えは、幕末の*尊王運動の大きな源となり、影響をあたえることになった。

*尊王運動…天皇の権威により政治を立て直そうとする運動



◀宣長の使った書斎のある家で、鈴屋という。三重県松阪市に保存されている。

# AQ 江戸時代の農民は、どんなくらしをしていたのかな？

**●アルバイトで現金を入手**

農民は、米や野菜はつくっても、油やしょうゆなどは買うことが多く、お金を得る方法として、野菜を売り歩いたり、わらじを売ったり、布を織って市場に持って行ったりしていた。



**●物々交かんで**

こうして得たお金で必要なものを買うのだが、地方の市場などでは、むかしながらの物々交かんで品物を取り引きしているところもあった。

▼当時の農民たちの収穫風景。 (東京大学史料編纂所)



# Q 天明の大ききんでは、どのくらいの人々がなくなったのかな？

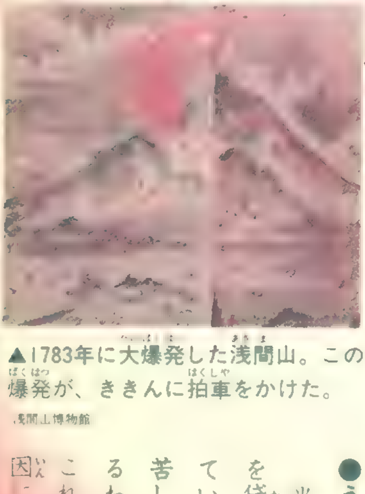


▲不作になやむ農民。

# A

**●六年もの大ききんで約百万人**

一七八二年から一七八七年にかけて、「天明の大ききん」が起こった。とくに東北地方は被害が大きく、仙台藩では、四年間に十四〜五万人がうえ死にし、全国では百万人近い人が死んだという。



▲1783年に大爆発した浅間山。この爆発が、ききんに拍車をかけた。

浅間山博物館

**●うえ死にが多かった理由**

当時は、藩同士が米や麦を貸し借りすることを禁じていた。そのため、不作に苦しむ藩があっても、助けるわけにはいかなかった。これがうえ死にの大ききんの原因になった

# Q 江戸時代には、どのような農具が使われたのかな?

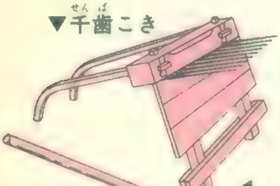


▲とうみや千歯こきなどを使う江戸時代の農民。(東京大学史料編纂所)

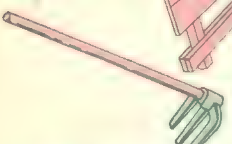
# A

**●それまでの十倍以上の能率を持つ**

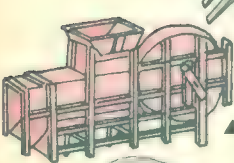
江戸時代に現れた新しい農具には、千歯こき、とうみ、千石どおし、備中ぐわなどがある。どれもそれまでの用具に比べて、十倍以上の作業能率を上げることができた。少しでも多くの生産をあげたいという、農民の願いと知恵がこうした道具を開発していった。



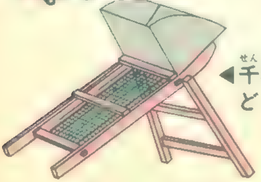
▼千歯こき



◀備中ぐわ



▲とうみ



◀千石どおし

## Q 江戸時代には、どうして特産物が生まれたのかな？

## A

**●特産物をしょうれいする大名**

当時の大名は、特産物を藩内でつくることをすすめ、藩がまとめて買い上げてそれを全国に売ることで、大きな利益を上げていた。

そのため、幕府も各地の大名も、四木（くわ・こうぞ・うるし・茶）、三草（紅花・あい・あさ）を植えることをさかんにすすめた。

**●現在にも多く伝えられる特産物**

その結果、各地で特産物の生産がすすんだ。仙台の絹織物、山口の紙、ろう、あい、徳島のあい、塩、鹿児島の黒砂糖、しょうのう、たばこなどがその代表的な例である。



## ●江戸時代のころの時刻とその呼び方

（午前）

| 当時の時刻 | 十二支 | 今の時刻 |
| --- | --- | --- |
| 夜九つ | 子 | 12時 |
| 夜八つ | 丑 | 2時 |
| 夜七つ | 寅 | 4時 |
| 明六つ | 卯 | 6時 |
| 朝五つ | 辰 | 8時 |
| 昼四つ | 巳 | 10時 |
| 昼九つ | 午 | 12時（正午） |

（午後）

| 当時の時刻 | 十二支 | 今の時刻 |
| --- | --- | --- |
| 昼九つ | 午 | 12時 |
| 昼八つ | 未 | 2時 |
| 夕七つ | 申 | 4時 |
| 暮六つ | 酉 | 6時 |
| 夜五つ | 戌 | 8時 |
| 夜四つ | 亥 | 10時 |
| 夜九つ | 子 | 12時 |

＊これは、春分・秋分のころの時刻の呼び方で、夏や冬は、これより少しずれていた

## Q 江戸時代の時刻の表し方は、どんなものかな？

## A

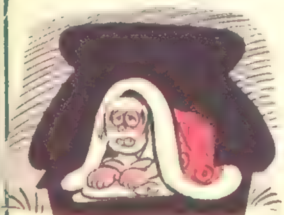
**●十二支の名前と鐘の音の数**

このころは、一日の時間を十二に分け、その一つ一つに十二支の名をつけて、「丑の刻」とか「午の刻」と呼んでいた。

また、この時刻を寺の鐘や役所のたいこの音で知らせたため、その音から「八つ」「八つ半」などという呼び方も生まれた。

**●おやつは「お八つ」**

現在も使われている「おやつ」ということばも、「八つ」どきに食べたところからきている。



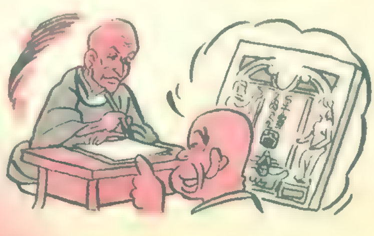
# 移り変わる世の中——年表とまとめ

| 時代 | 世紀 | 西暦 | おもなできごと |
|---|---|---|---|
| 江戸時代 | 17世紀 | 一六八八 | ●井原西鶴が『日本永代蔵』をあらわす。 |
| | | 一六八九 | ●松尾芭蕉が『奥の細道』の旅に出る。（このころ大阪を中心に元禄文化が栄え、歌舞伎や人形しばい、浮世絵がさかんになる。） |
| | 18世紀 | 一七〇五 | ●大阪の豪商淀屋が幕府にとりつぶされる。 |
| | | 一七〇七 | ●鴻池善右衛門が鴻池新田を開く。 |
| | | 一七一五 | ●近松門左衛門の『国姓(性)爺合戦』が大あたりする。 |

## 【㈠蘭学と国学】

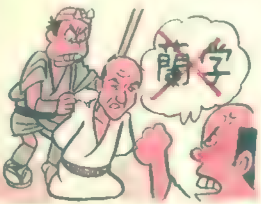
### ①杉田玄白と『解体新書』

杉田玄白は、オランダの医学書『ターヘル＝アナトミア』の正確さを知り、ほん訳を決心した。前野良沢らと三年がかりで『解体新書』として出版した。



### ②蘭学の広がりと幕府への批判

江戸時代後期から蘭学が広まった。渡辺崋山や高野長英らは、外国の政治や文化を学び、幕府の政治を批判したため処罰された。



| 時代 | 時代 |
|---|---|
| 世紀 | 18世紀 |
| 西暦 | おもなできごと |
| 一七一六 | ●徳川吉宗が享保の改革を始める。(このころから大名や武士の生活が苦しくなる。) |
| 一七二一 | ●徳川吉宗が目安箱を置き、人々の意見を聞く。 |
| 一七二二 | ●参勤交代の期間をゆるめる。 |
| 一七七四 | ●杉田玄白・前野良沢らが『解体新書』を出版する。 |
| 一七八二 | ●天明の大ききんが起こる。 |

### ③本居宣長と『古事記伝』

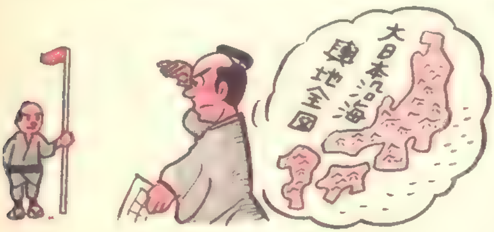
宣長は、古代の日本人の考え方をさぐる国学を研究し、『古事記伝』を完成した。国学者は、天皇中心の国家の考えを強くうちだした。




### ④新しい学問の発達

この時代は、蘭学などの影響もあり、学問がよく発達した。

おもなものをあげると、平賀源内のまさつ起電機の復元、伊能忠敬の『大日本沿海輿地全図』、渡辺崋山の『慎機論』、高野長英の『夢物語』などがある。



| 江戸 | |
| --- | --- |
| 19世紀 | |
| 一七八七 | ●松平定信が寛政の改革を始める。 |
| 一七九八 | ●本居宣長が『古事記伝』を完成する。 |
| 一八一五 | ●杉田玄白が『蘭学事始』を出版する。（このころききんが相次ぎ、全国に一揆や打ちこわしが広がる） |
| 一八二一 | ●伊能忠敬がくわしい日本地図を完成する。 |
| 一八二四 | ●シーボルトが長崎に鳴滝塾を開く。 |
| 一八三七 | ●大塩平八郎の乱が起こる。 |
| 一八三九 | ●蘭学者が幕府にだん圧される。（蛮社の獄） |
| 一八四一 | ●水野忠邦が天保の改革を行う。 |

## 【㈡政治の行きづまりと大商人】

### ①三井高利と大商人

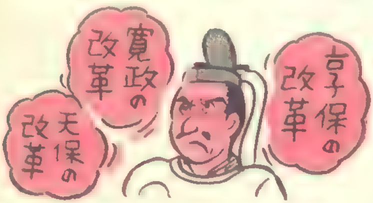
「現金かけ値なし」という新商法で、三井高利は大商人になった。ほかにも紀伊国屋文左衛門、淀屋辰五郎、河村瑞賢などの大商人がいた。



### ②幕府の政治と三大改革

大名や武士の生活苦、打ちこわしや一揆の増加、蘭学者や国学者などによる幕府政治の批判がうずまく中で、幕府の政治は行きづまってきた。

そこで、享保、寛政、天保の三大改革を行ったが、どれも成功にはいたらなかった。



# 日本の歴史㊥ さくいん

●みなさんが歴史を学習するうえで、ぜひ覚えておきたいことがらや人物(太字)、事件などをとり上げました。
●何度も登場する事柄は「人物まんが」や「Q&A」などの大きなまとまりで初めて出てくるページを示しました。

## あ



## か

## Q&Aの項目一覧表

教科書の「歴史」の勉強がよくわかる
人物まんが
# 日本の歴史㊥

この学習教材の編集にご協力くださったかたがた
●監修・埼玉大学教授　田代脩
●指導／文・東京都世田谷区立中丸小学校教諭　高橋則行／前筑波大学附属小学校教諭　倉地允視／神奈川県川崎市立宮前平中学校教諭　柳川正実
●絵・野崎猛／山内ジョージ／山口太一／森正人／田村元
●人物まんが・ムロタニツネ象／田中正雄／人見倫平
●写真・真正極楽寺／神戸市立博物館／徳川黎明会／種子島開発総合センター／高台寺／本徳寺／情妙寺／関ヶ原町歴史民俗資料館／養源院／方広寺／大阪城天守閣／東京国立博物館／原昌義／法隆寺／東京大学史料編纂所／京都大学付属図書館／宮内庁侍従職／松平西福寺／徳川恒孝／長崎市立博物館／東京芸術大学／国立教育研究所／三井文庫／三井家同族会／富士銀行／浅間山博物館／豊国神社／南蛮文化館／浄厳院／国文学研究資料館史料館／日光東照宮／東京都立大学図書館
●制作協力・冬陽社(岡村浩史)／清水秀子
●デザイン・アニマルハウス
●企画／編集・早川光二(編集長)／葛坂登（副編集長)／片岡優／鈴木俊男／前田太郎
6年の学習　8月教材　第2学習教材＝社会科　第43巻第5号　1988年8月1日発行　発行人　児山敬一／編集人・本郷左智夫　発行所　株式会社学習研究社　〒145　東京都大田区上池台4-40-5　電話(03)726-8270(学習編集部直通)　(03)726-8111（案内番号）　振替口座番号東京8-142930　印刷所　三晃印刷株式会社／岩岡印刷工業株式会社

■この学習教材に関するお問い合わせ、お気づきの点がありましたら、下記あてご連絡をお願いいたします。文書は、〒145　東京都大田区上池台4-40-5　学研　お客さま相談センター「6年の学習」係。電話は、東京(03)726-8124。





人物まんが「日本の歴史」㊥には…

**信長と秀吉と家康**

信長・秀吉・家康はどんな活やくを？ 天下人へたどりつけたのは？などを解説!!





**杉田玄白**

「ろ・や・か・じのない小舟で大海に乗り出したような」、心もとない事業を始めた杉田玄白。だが三年半後には…。

**徳川家光**

江戸幕府の三代将軍家光は、生まれながらの将軍。生い立ちや業績などを、くわしく説明!!



楽しい人物まんがのほかにも、それぞれの人物のまとめ、おもな人物像、Q&A、年表とまとめがあって、歴史の学習にピッタリ。



| ●名前 | ●この学習教材のねらい<br>室町時代から江戸時代末までの様子が人物まんが，Q&A，年表とまとめなどで楽しくわかります。 |
| --- | --- |

「日本の歴史」㊥に引き続き，㊦も登場します!! 10月教材には㊦がつくのです。これまでの㊤，㊥に加えて㊦もそろえて使えば，あなたの歴史の勉強は，もう敵（テンカムテキ）です!!

3 8-121-67 Printed in Japan